

KL-M5

取扱説明書 保証書別添

ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

はじめに

準備編

おためし印刷編

ラベル作成編

入力・編集編

設定編

付録

ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

本書に記載されている各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© Copyright 2005 CASIO COMPUTER CO., LTD. All rights reserved.

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収/分解し、再資源化しております。

使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書はKL-M5について説明しています。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。
- 本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- 本書は、紙メディアである性質上、この中に説明されているソフトが完成するかなり前に印刷されます。このため、本書の印刷終了後に行われたソフトウェア上の細部の変更、また画面の変更などに、一部対応しない部分が出る可能性があります。また、本文中の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

アルカリ電池について



アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について



煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口ご連絡する。

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。



- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する





- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしてはいけない


⚠ 警告**ACアダプターについて**

電源コードは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。



-  ・重いものを乗せたり、加熱しない
- ・加工したり、無理に曲げない
- ・ねじったり、引っ張ったりしない
-  ・電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡する

ACアダプターについて


-  ・濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。
- 感電の原因となります。
- ・AC アダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- ・AC アダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 警告**電池について**


電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

-  ・分解しない、ショートさせない
- ・加熱しない、火の中に投入しない
- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- ・種類の違う電池を混ぜて使用しない
- ・充電しない
-  ・極性(+と-の向き)に注意して正しく入れる

落とさない、ぶつけない


-  本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
 1. 電源スイッチを切る。
 2. プラグをコンセントから抜く。
 3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡する。

分解・改造しない

-  本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。
- 内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。


警告

水、異物はさける


 水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡する。


火中に投入しない

 本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない

 本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。







電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

 電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

注意



ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

-  ストープ等の熱器具に近づけない
-  プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない(必ずACアダプター本体のプラグを持って抜く)
-  プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
-  旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
-  ご使用後は電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
-  ACアダプターの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年1回以上清掃する。

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

-  本機で指定されている電池以外は使用しない
-  長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく

⚠ 注意

大切なデータは控えをとる

❗ 本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

重いものを置かない

⊘ 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

置き場所について

⊘ 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

⊘ ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

⊘ 本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

表示画面について

⊘

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったたり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

⚠ 注意

高温注意

⊘ プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどするおそれがあります。

オートテープカッターに注意する

⊘ 電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲（10℃～35℃）の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法（68ページ）をご覧ください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。

もくじ

こんなことができます	9
------------	---

準備編 10

各部の名前とはたらき	10
------------	----

付属品を確認しましょう	11
-------------	----

本機を使う前の準備	12
-----------	----

電源について	13
--------	----

ACアダプターで使う	13
------------	----

データの保持について	14
------------	----

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！	15
-----------------------	----

電源を入れる・切る	15
-----------	----

オートパワーオフ(節電)機能について	15
--------------------	----

印刷する文章の作り方について	16
----------------	----

テープカートリッジを取り付ける/取り外す	17
----------------------	----

テープカートリッジを取り付ける	17
-----------------	----

テープカートリッジを取り外す	18
----------------	----

キーのはたらき	19
---------	----

キーの表記について	20
-----------	----

画面の見かた	21
--------	----

おためし印刷編 22

まずは作ってみましょう	22
-------------	----

ラベルに印刷する	22
----------	----

ラベルを貼る	24
テープを空送りする	24
テープの余白を「送り無」にしたときは	24
終了する	25

ラベル作成編 27

ラベル作成の流れ	27
----------	----

操作の流れ	27
-------	----

フォーマットを選んで作る(用途別ラベル)	28
----------------------	----

フォーマットを選ぶ	28
-----------	----

通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング)	30
------------------------	----

ナンバリングの種類	30
-----------	----

自由に入力して作る(フリーラベル)	32
-------------------	----

フリーラベルを作る	32
-----------	----

2行以上のラベルを作る	33
-------------	----

ラベルの書式を決める	34
------------	----

ラベルの長さを自由に決める	36
---------------	----

文章のバランスを整える(割付)	37
-----------------	----

文字の大きさを決める	38
------------	----

フレームをつける	40
----------	----

縦書きのラベルを作る	41
------------	----

印刷とカットモード	42
-----------	----

カットモードについて	42
------------	----

カットのしかたと余白について	44
----------------	----

作成したデータを登録する・呼び出す	45
-------------------	----

データを登録する	45
----------	----

フリーラベル

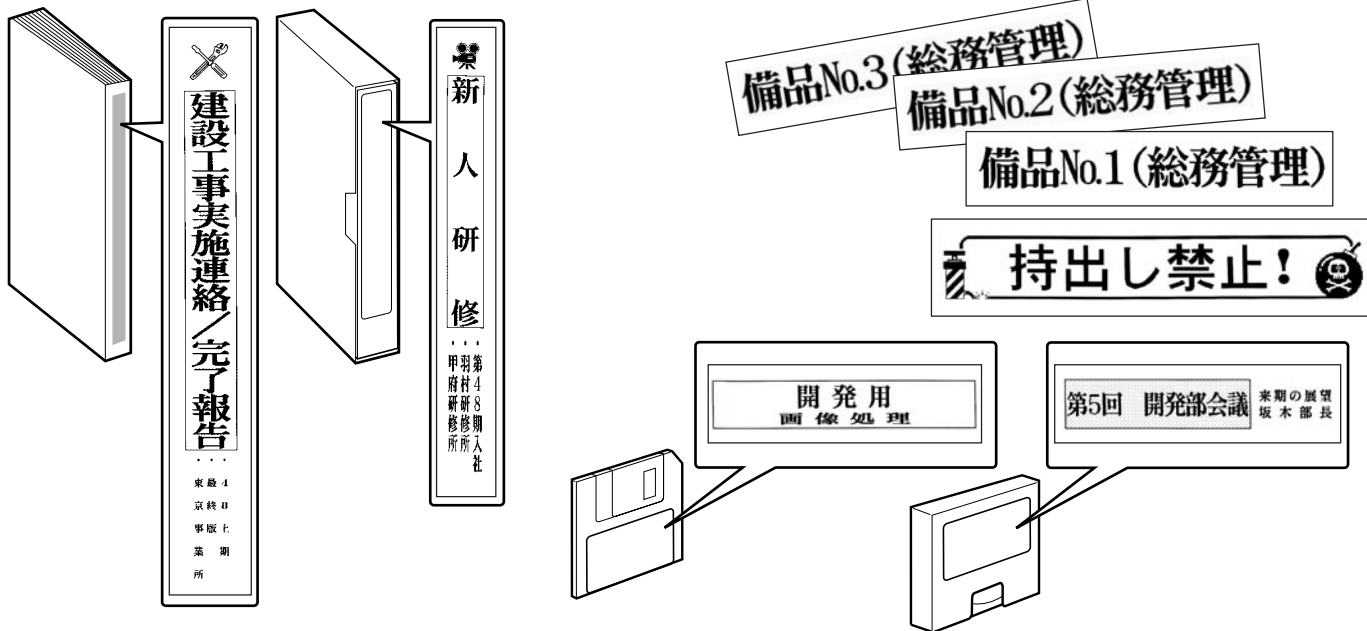
登録したデータ呼び出す	45
入力・編集編	47
カーソルのはたらきと動かしかた	47
ローマ字入力?それともかな入力?	48
ローマ字入力とかな入力を切り換える	48
入力する文字の切り替え方法	48
ひらがな・カタカナの入力	48
アルファベット(大文字・小文字)の入力	48
ひらがな・カタカナの入力	49
ひらがなの入力	49
カタカナの入力	49
いろいろな文字の入力方法	50
漢字の入力	50
文章を入力してから変換する	50
同音異義語を変換する	51
漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換)	52
アルファベットや数字の入力	53
アルファベット(大文字)の入力	53
アルファベット(小文字)の入力	54
数字の入力	54
記号の入力	54
キーに印刷されている記号	54
その他の記号	55
絵文字の入力	55
文字を修正・削除するときは	56

間違った文字を消す	56
すべての文字を消す(文削除)	57
間違った文字を直す	57
文字が抜けていたら	59
書体(フォント)を変える	59
入力済みの文字の書体を変える	60
電源を入れたときの書体を決める	60
文字を目立たせる	61
文字に飾りをつける	62
設定編	63
設定を変える	63
設定できる項目	63
画面の明るさを変えたい	63
印刷の濃さを変えたい	64
サンプルデータを印刷する(デモ印刷)	64
付録	67
電源について	67
乾電池で使う	67
お手入れの方法	68
綿棒できれいにする	68
クリーニングテープを使う	69
こんなときは(トラブルシューティング)	69
エラーメッセージ一覧	72
ローマ字入力一覧	74

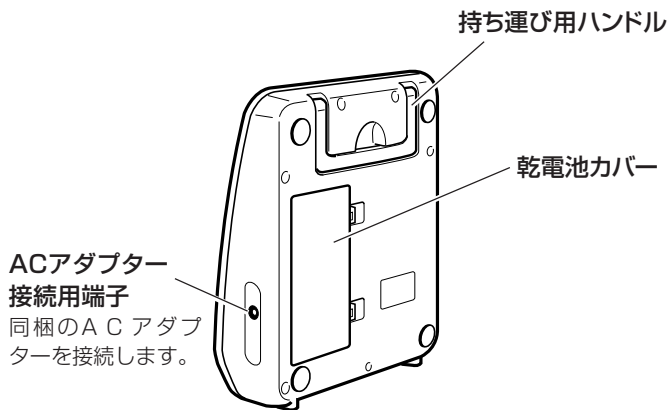
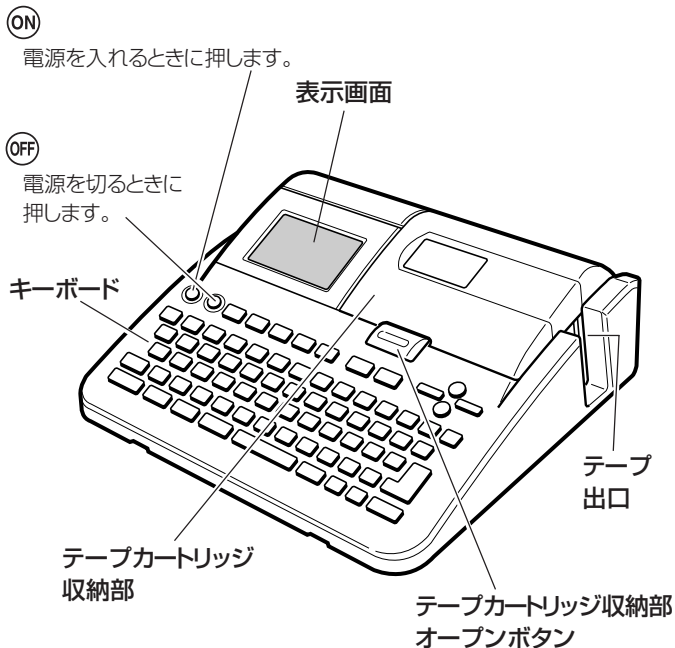
記号・絵文字一覧	76
フレーム一覧	79
用途別ラベルフォーマット一覧	80
ナンバリングフォーマット一覧	83
テープ幅と行数・倍率一覧	83
各機能における使用可能テープ幅一覧	83
内蔵漢字一覧	84
仕様	89
別売品一覧	91
索引	93
保証・アフターサービスについて	95

こんなことができます

ビデオカセットや名前などの定番ラベルから、お好みのレイアウトで作成することができるラベルまで、さまざまな印刷ができます。

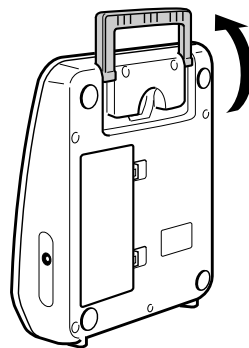


各部の名前とはたらき

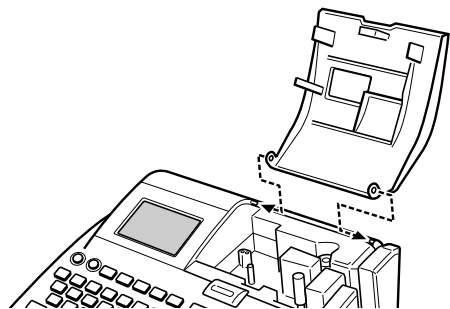


■持ち運ぶときは

本機を持ち運ぶときは、図のように持ち運び用ハンドルを引き上げてお使いください。

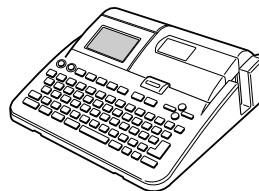


■テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったら
テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったときは、図のよう
にセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりする
と、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。

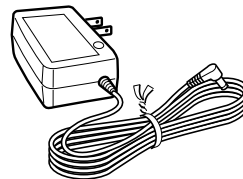


付属品を確認しましょう

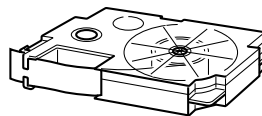
KL-M5本体



ACアダプター
AD-A12090L



テープカートリッジ



本書
保証書

本機を使う前の準備

操作の流れ

ACアダプターの接続

または乾電池のセット

13ページ

67ページ



テープカートリッジの取り付け

17ページ



自由に入力して作る

フリーラベル 22、32ページ
フリーラベルの編集機能
33ページ



用途に応じて作る

用途別ラベル
ナンバリング
28、30ページ



印刷する

23ページ



電源について


本機を使うときは、電源として同梱のACアダプターまたは市販のアルカリ乾電池を使います。

- 市販の乾電池のセットのしかたは、67ページをご覧ください。

ACアダプターで使う

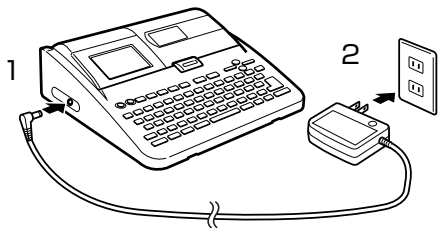
同梱のACアダプター(AD-A12090L)を使用すると、乾電池をセットしなくても本機を使うことができます。

■取り付け


- 重要**  • 同梱のACアダプター以外は使用しないでください。
• 「電池からACアダプターに切り替えるとき」「ACアダプターから電池に切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってからACアダプターの接続や電池のセットをしてください。電源を入れた状態で行くと、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。

1 ACアダプターのプラグを、本機のACアダプター接続用端子に差し込みます。

2 ACアダプターをご家庭のコンセント<AC100V>に差し込みます。



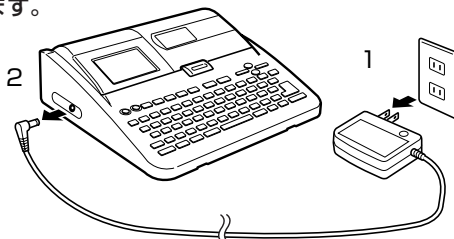
■取り外す


- 重要**  • 印刷中にACアダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
• 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、ACアダプターや乾電池(67ページ)を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章や本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。

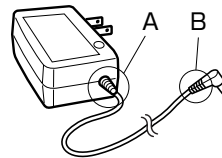
1 **OFF** を押して電源を切ります。

2 コンセントからACアダプターのプラグを抜きます。

3 本機のACアダプター接続用端子からACアダプターのプラグを抜きます。



- 重要**  電源コードの両端部分(図のAおよびB)は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。



⚠ 警告**ACアダプターについて**

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- ❗ 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- ⊘ 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしてはいけない

ACアダプターについて

電源コードは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- ⊘ 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- ❗ 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡する

ACアダプターについて

- ⊘ 濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- ACアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 注意**ACアダプターについて**

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊘ ストープ等の熱器具に近づけない
- ⊘ プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない(必ずACアダプター本体を持って抜く)
- ❗ ACアダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- ACアダプターの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年1回以上清掃する。

データの保持について

- 電源が入っている状態でACアダプターや乾電池(67ページ)を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章や本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 本機に登録しているデータ(文字や文章など)は、ノートなどに控えをとっておいてください。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ずメモリーの初期化という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、必要のないときはメモリーの初期化をしないでください。

- 1 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、**OFF** を押します。
- 2 **印刷**と**取消し**をいっしょに押しながら、**ON**を押します。
 - **印刷**、**取消し**、**ON**を押していた指はほぼ同時に離します。
 - 「メモリー初期化 実行/取消し」が表示されます。
- 3 **実行**を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

メモリーとは

本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。

「メモリーの初期化」とは

本機が正常な動作をするために、電気的な設定を行うことです。

「メモリーの初期化」を行うと、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。

また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

電源を入れる・切る

いちど「メモリーの初期化」をしたら、次からは**ON**を押すだけで本機が使えます。

電源を入れるには…

ON を押します。



電源を切るには…

OFF を押します。



ACアダプターを取り外す前に、画面に何も表示されていないことを確認してください。確認できたら、ACアダプターを取り外してください。

- 画面の明るさを調整するときは、63ページをご覧ください。

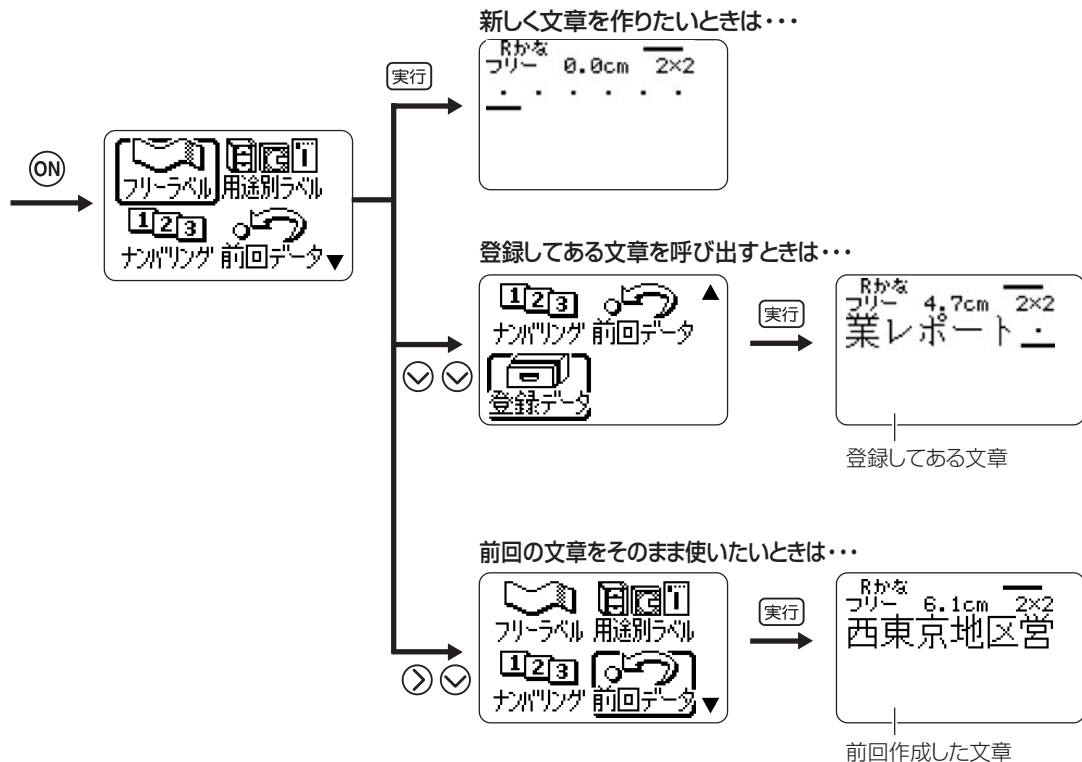
オートパワーオフ(節電)機能について

何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これをオートパワーオフ機能といいます。

ふたたび本機を使うときは、**ON**を押してください。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の3つがあります。



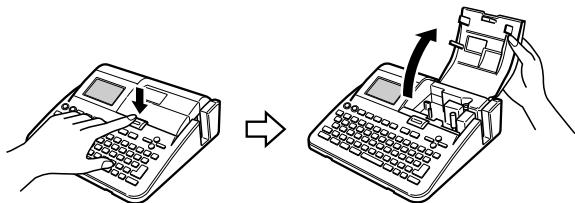
- メインメニュー画面で「前回データ」以外を選択したときや、デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作を行ってください。(データの登録→45ページ)

テープカートリッジを取り付ける/取り外す

ラベルに印刷するときには、テープカートリッジが必要です。
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。(別売品一覧
→91ページ)

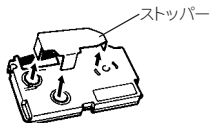
テープカートリッジを取り付ける

- 1 **OFF** を押して、電源を切ります。
- 2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。



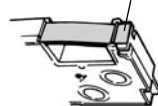
重要 カバーの開閉時には、「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

- 3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。



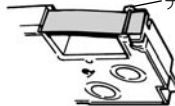
- 4 テープの先が折れ曲がっていないことを確認します。
テープの先が折れ曲がっていたら、ハサミで曲がった部分を切ってください。

テープの先が曲がっていない

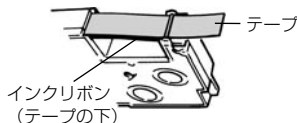


- 5 テープがテープガイドにきちんと通っているか確認します。
テープガイドから外れているときは、イラストのようにラベルの先をテープガイドに通してください。

テープガイド

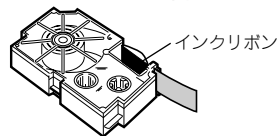


- 6 テープを約3cm引き出します。



- 重要**
- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
 - 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因となります。

- 7 インクリボンがたるんでいないか、確認します。

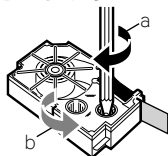


重要 インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみをとります

インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回り始めるまで右上の軸を回してください。

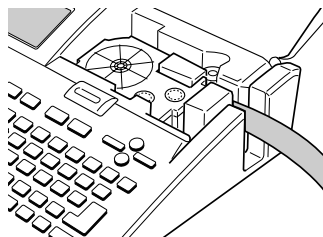
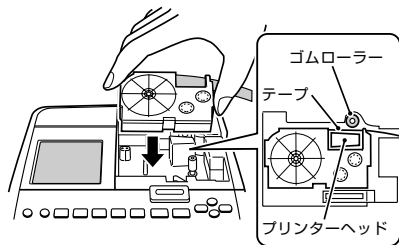
このとき、テープはいっしょに動きません。



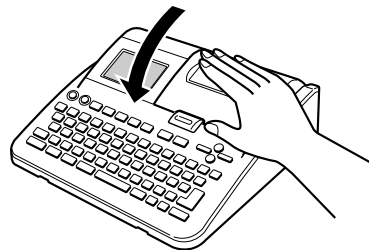
8 テープカートリッジをセットします。

インクリボンが引っかけられないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます(下図)。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

重要 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。



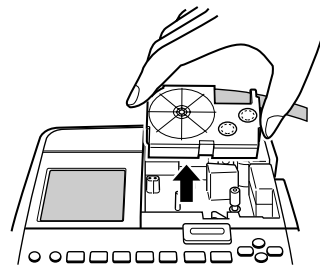
9 テープカートリッジ収納部のカバーを閉めます。



- カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

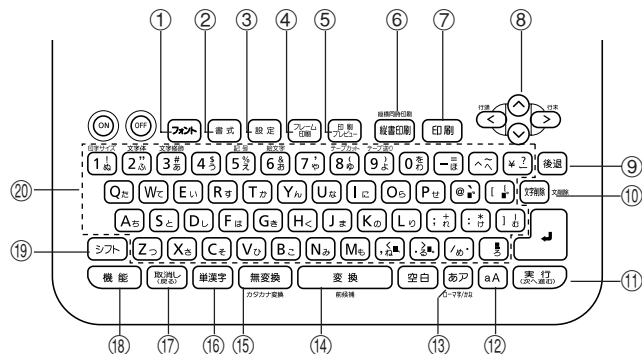
テープカートリッジを取り外す

- 1 **OFF** を押して電源を切ります。
- 2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。
- 3 テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。



キーのはたらき

ここではキーの主な使いかたについて説明します。



①	フォント	フォント(書体)を選ぶときに押す。
②	書式	書式を設定するときに押す。
③	設定	文字の入力方法や画面の明るさなどの設定をするときに押す。
④	フレーム印刷	フレーム印刷をするときに押す。 •フリーラベル以外では使用できません。
⑤	印刷プレビュー	印刷結果を画面で見るときに押す。
⑥	縦書き印刷	縦書き印刷をするときに押す。 •縦横同時印刷をするときは、 機能 を押し指を離してからこのキーを押す。 •フリーラベル以外では使用できません。
⑦	印刷	印刷するときに押す。
⑧		•文字が入る位置を示した_や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す。 •項目などを選択するときに押す。
⑨	後退	カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑩	文字削除	•カーソルの上の文字を消すときに押す。 •入力中の項目の文章をすべて消すときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑪	実行	操作を進めるときに押す。
⑫	aA	アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。(53ページ)

⑬	あア ローマ字/ひらがな	<ul style="list-style-type: none"> ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。(49ページ) ローマ字入力かかな入力を切り換えるときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑭	変換 前候補	<ul style="list-style-type: none"> ひらがなを漢字などに変換するときを押す。 1つ前の変換に戻るとき(前候補)は、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑮	無変換 カタカナ変換	<ul style="list-style-type: none"> 漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときを押す。 入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑯	半漢字	1文字ずつ漢字に変換するときを押す。
⑰	取消し	操作を戻したり、中止したりするときを押す。
⑱	機能	キーの上下または横に 機能 と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
⑲	シフト	<ul style="list-style-type: none"> かな入力するとき、「っ」や「よ」などの促音・拗音を入れる場合に押す。(50ページ) アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(または小文字)を入れる場合に押す。(53ページ)
⑳	(文字キー)	文字を入れるときに押す。

キーの表記について

- 本文中では、操作手順の中で使うキー(ボタン)を $\boxed{1\downarrow}$ や**実行**などのように表記しています。

例 $\boxed{1\downarrow}$ を押したあとに続けて**実行**を押すときの表記

↓
 $\boxed{1\downarrow}$ **実行** と押します。

- 本機のキーの上下または横に**機能**と同じ色で書かれている機能(「文字修飾」や「カタカナ変換」など)を使うには、**機能**を押し、指を離してから**機能**と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例 「文字修飾」機能を使うときの表記

↓
機能 を押し、指を離してから $\boxed{3\#}$ を押します。

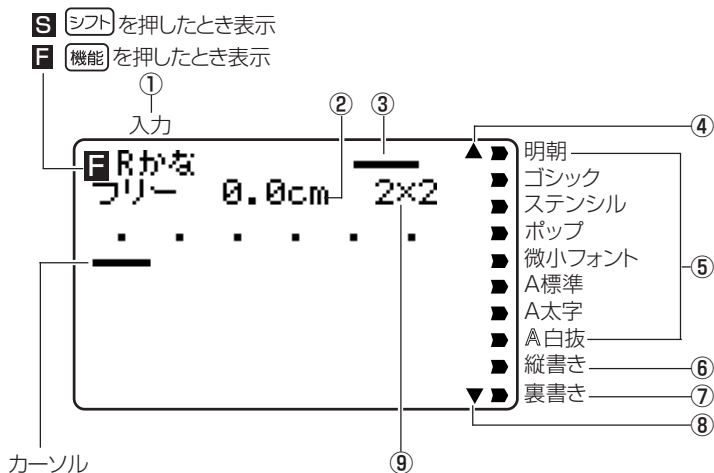
- 操作手順の中で、「 \triangleleft \triangleleft \triangleleft \triangleright 」を押して…」「 \triangleleft \triangleleft 」を押して…」「 \triangleleft \triangleright 」を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

- 1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは**取消し**を押します。
- 取消し**を何回押しても希望の画面に戻らないときは、**OFF**を押して一度電源を切ります。**ON**を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面の見かた

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

・画面の明るさを変えるときは、63ページをご覧ください。



①	入力できる文字の種類を示す。(48ページ)
②	いま作っているラベルの長さを示す。(36ページ)
③	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(33ページ)
④	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑤	書体(フォント)、文字体が何になっているかを示す。(59ページ、61ページ)
⑥	縦書きになっていることを示す。(41ページ)
⑦	裏書きになっていることを示す。(34ページ)
⑧	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑨	文字のサイズを示す。(38ページ)

まずは作ってみましょう

準備ができれば、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

ラベルに印刷する

[印刷例]

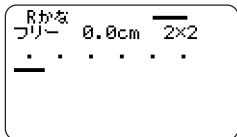
営業レポート

1 **ON** を押して、電源を入れます。



2 **⏪ ⏩ ⏴ ⏵** を押して作りたいラベルの種類を選び、**実行** を押します。

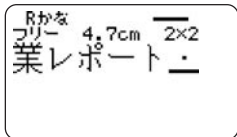
ここでは「フリーラベル」を選びます。



3 文字を入力します。

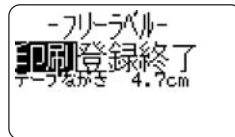
ここでは「営業レポート」と入力します。

- 文字の入力方法については、25ページをご覧ください。



続いて、ラベルに印刷します。

4 **実行** を押します。



印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

1 **印刷プレビュー** を押します。

どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます

営業レ

2 じっくりと見たい部分が流れてきたら、**実行** を押します。

ポート


その部分が止まります

実行 を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは **取消し** を押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されない場合があります。

■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットするかどうかを選ぶことができます。

重要  印刷する前に、テープ出口(10ページ)が物などでふさがっていないことを確認してください。

- テープカートリッジがセットされていることを確認してください(17ページ)。

1 **印刷**になっていることを確認して、**実行**を押します。

2 **◀ ▶**を押して、印刷する枚数を指定します。
ここでは「1枚」にします。

- **◀**を押すと数字が減り、**▶**を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。一度に、100枚まで指定できます。
0枚を指定することはできません。

3 **✓**を押します。


4 **◀ ▶**を押して、カットモードを指定します。
通常は「カットする」にします。

- ラベルごとに切り離すときは、「カットする」を指定します。
- 反射テープ・マグネットテープをセットしているときは、「カットしない」を指定します。

カットモードについて詳しくは、42ページをご覧ください。

5 **実行**を押します。
印刷が始まります。

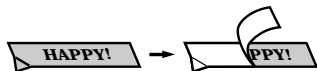
- 印刷を途中でやめるときは、**取消**を押します。

- 重要** 
- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
 - 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。(10ページ)
 - 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」までさわらないでください。
 - 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、**取消**を押して印刷を中止してください。
 - テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープがつかまったり、故障の原因になります。

ラベルを貼る

1 必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・かたちにします。

2 ラベルの裏を剥がして、貼ります。
ラベルの角を折り曲げると、剥がしやすくなります。



・一度貼ったラベルを剥がすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

重要 次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。



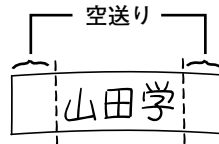
- ・直射日光や雨が当たるもの
- ・人や動物のからだ
- ・他人の家のへいや電柱など
- ・公園・駅など、公共の場所
- ・電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは…

- ・表面がざらざらしているところ
- ・表面に水や油、ホコリなどがついているところ
- ・特殊なプラスチック材料(シリコン系・PP材など)

テープを空送りする

印刷する前、した後に、テープを白紙で送ることができます(テープ送り)。



1 **機能** **9** テープ送り と押します。



テープが約21.5mm送られます。

テープの余白を「送り無」にしたときは

テープの余白を「送り無」と設定したときは(44ページ)、印刷が終わっても自動的にテープはカットされません。次の手順に従って、テープをカットしてください。

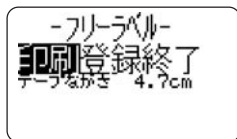
1 **機能** **8** テープカット と押して、テープをカットします。

重要 テープをカットするときは、本機を傾けないでください。



また、テープを引っばったり、カバーを開けたりしないでください。

終了する



- 1 上の画面が表示されているときに◀▶を押して**終了**にし、**実行**を2回押します。



- 「登録」については、45ページをご覧ください。

文字の入力について

■「営業」を入力します。

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。(48ページ)

あアを何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

Eい **Iに** **Gき** **Yん** **Oら** **Uな** **変換**を何回か押して、「営業」が画面に表示されたら**実行**

■「レポート」を入力します。

あアを何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

Rす **Eい** **Pせ** **Oら** **¥?** **Tか** **Oら**

- 誤った文字を入力したときは、**文字削除** (56ページ) や **後退** (56ページ) を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
- 文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」(47ページ) をご覧ください。

MEMO

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルに印刷するときは、以下の手順で行います。

ACアダプターの接続

または乾電池のセット

13ページ

67ページ



テープカートリッジの 取り付け

17ページ



自由に入力して作る

フリーラベル

22、32ページ

フリーラベルの編集機能

33ページ



用途に応じて作る

用途別ラベル

ナンバリング

28、30ページ

操作の流れ

1 ラベルの種類を選ぶ
フリーラベル 32ページ
用途別ラベル 28ページ
ナンバリング 30ページ

登録してある
データ呼び出
して使うときは
(45ページ)

前回作成した
データを使う
ときは
(16ページ)



2 文字を入力する(48ページ)



3 文字を修飾する

書体(フォント)を変える(59ページ)、文字を目立たせる(文字体)
(61ページ)



ラベルを印刷(22ページ)・登録(45ページ)・終了する

3 (↑)(↓)(←)(→)を押して作成するラベルの種類を選び、**実行**を押します。

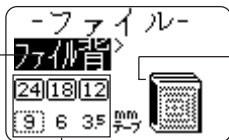
ここでは「ファイル」を選びます。
フォーマット選択画面が表示されます。



フォーマット選択画面の見かた

ここでは、例として、「ファイル背」の画面を説明します。

ラベルの種類を示します。



ラベルを貼る位置を示します。

対応するテープ幅を示します。

9 | 18 ……使用できるテープ幅は、実線または点線で囲まれます。

18 ……最も適したテープ幅は、実線で囲まれます。

6 ……使用できないテープ幅は、囲まれません。

4 (←)(→)を押して、「ファイル」ラベルの種類を選び、**実行**を押します。

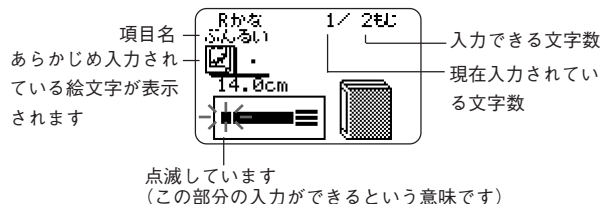
ここでは「ファイル背」を選びます。



5 (↑)(↓)(←)(→)を押してフォーマットを選び、**実行**を押します。

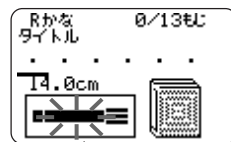
詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」(80ページ)をご覧ください。

ここでは「小3」を選びます。
文字入力画面が表示されます。



6 画面の絵文字を必要に応じて変更し、**実行**を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- ほかの絵文字に変えるときは、55ページをご覧ください。



点滅の場所が変わります

7 文字を入力し、**実行**を押します。

ここでは「タイトル」「コメント1」「コメント2」「コメント3」に入力します。

- 枠がつけられるフォーマットの場合は、**機能**を押し指を離してから**3**を押し、枠付「あり／なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。



- ラベルデータを印刷するときは→22ページ
- ラベルデータを登録するときは→45ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に**書式**を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング)

ページ番号や通し番号がついたラベルを作ることができます。

重要 3.5mm幅のテープカートリッジは使用できません。



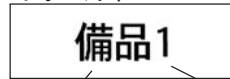
ナンバリングの種類

•フォーマット1



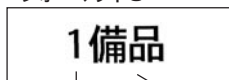
ナンバー

•フォーマット2



コメント(50文字まで) ナンバー

•フォーマット3



ナンバー コメント(50文字まで)

•フォーマット4



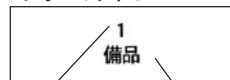
コメント1(50文字まで) ナンバー コメント2(50文字まで)

•フォーマット5



ナンバー コメント(50文字まで)

•フォーマット6



ナンバー コメント(50文字まで)

- 上の例は18mm幅テープで作成しました。

【印刷例】

備品No.15(総務管理)

備品No.16(総務管理)

備品No.17(総務管理)

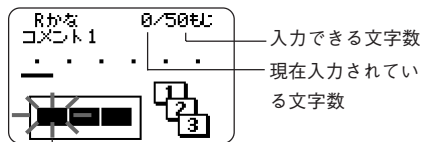
「備品No.15(総務管理)」～「備品No.17(総務管理)」のラベルを印刷します。

重要 ナンバリング印刷では、指定枚数分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、**【取消】**を押して印刷を中止してください。

1 **【ON】**を押して、電源を入れます。

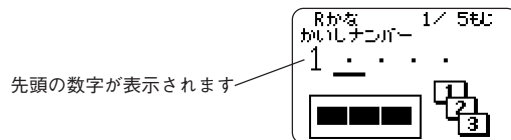
2 **【上】【下】【左】【右】**を押して「ナンバリング」を選び、**【実行】**を押します。

3 **【上】【下】【左】【右】**を押してフォーマットを選び、**【実行】**を押します。
ここでは「4」を選びます。



点滅しています
(この部分の入力ができるという意味です)

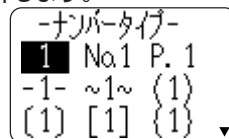
4 「コメント1」の文字を入力し、**【実行】**を押します。
ここでは「備品」と入力します。



5 ナンバリングの先頭になる数字に変更し、**【実行】**を押します。
ここでは、「No.15」～「No.17」のラベルを作るので、「15」を入力します。

- 先頭になる数字を変更するときは、数字を削除して入力し直してください。5桁まで入力できます。

6 「コメント2」の文字を入力し、**【実行】**を押します。
ここでは「(総務管理)」と入力します。



7 **【上】【下】【左】【右】**を押してナンバリングの形を選び、**【実行】**を押します。
ここでは「No.1」を選びます。

8 **【左】【右】**で**【印刷】**を選び、**【実行】**を押します。



9 ⏪ ⏩ を押して連番として印刷する枚数を設定し、連番の開始と終了の番号を確認してから [実行] を押します。

ここでは、15、16、17番を印刷するので、「3」を設定します。

- 1～100までを入力できます。

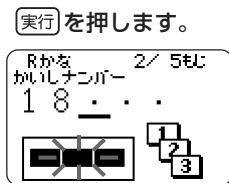


10 ⏪ ⏩ を押してカットモードを設定し、

- カットモードについて詳しくは、42ページをご覧ください。

印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。

- ナンバー「9 9 9 9」の次は、「00000」が印刷されます。
- 「長さオーバー 印刷できません」「長さが短すぎてカットできません」と表示されたときは、73、74ページをご覧ください。



表示される番号は、作成するラベルによって異なります。



- 重要! • テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープがつかったり、故障の原因になります。

- ラベルデータを登録するときは→45ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
- 「余白」の設定をする

上記の設定をするには、文字入力中に [書式] を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

フリーラベル

自由に入力して作る(フリーラベル)

ここでは自由に入力してラベルを作る(フリーラベル)方法について説明します。

フリーラベルを作る

フリーラベルの作り方については、22ページを参照してください。

操作を簡単に説明しますと、以下のようになります。

- ① [ON] を押して、電源を入れます。
- ② [↑][↓][⏪][⏩] を押して「フリーラベル」を選び、[実行] を押します。
- ③ 自由に文字を入力します。

2行以上のラベルを作る

2行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要 3.5mm幅テープでは、2行以上のラベルは作れません。



テープの幅	最大行数
3.5mm	1行
6mm	2行
9mm	3行

テープの幅	最大行数
12mm	5行
18mm	6行
24mm	6行

- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。
(ジャストフィット印刷)
- 文字の大きさを自由に決めた場合(38ページ)も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

[印刷例] 顧客リスト
最新版 (18mm幅テープ)

1 1行目を入力します。
ここでは「顧客リスト」と入力します。

2 を押します。

3 2行目を入力します。
ここでは「最新版」と入力します。

文字の大きさが行数に合わせて自動的に変わります。

作っているラベルのレイアウト(イメージャー表示)線の数は行数を表わし、線の太さは文字の大きさをイメージであらわします。

改行マークが入ります(画面だけの印なので印刷されません)

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、 を押します。
- 改行を取り消すときは、 を押してマークを削除します。
※ を押しても マークを削除することはできません。
- イメージャー表示は、微小フォントでの印刷のときは「5/6」というような表示になります。これは、「行数は6行で、カーソルが合っているのは5行目」という意味です。
微小フォントでの印刷について→39ページ。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー印刷できません」と表示され、印刷することはできません。そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→22ページ
- ラベルデータを登録するときは→45ページ

こんなラベルを作るには？

顧客リスト最新版
営業部



顧客リスト最新版
営業部

文字の大きさを決めます
(38ページ)

ラベルの書式を決める

ラベルの長さ・文字間隔・文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール(書式)で作るのかを決めます。

■設定できる内容

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">方向</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">巾着</div> </div>
文字割付	文字のバランスを決めます。 →37ページ参照
文字間隔	文字と文字のピッチ(間隔)を決めます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">文字間隔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">文字間隔</div> </div>
裏書き	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em;">お書集</div> <ul style="list-style-type: none"> ハンカチやTシャツなどの布製品にアイロンプリントするときに設定します。布転写テープカートリッジ(別売)をご用意ください。 ガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。テープ色が透明なテープカートリッジ(別売)をご用意ください。
余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選びます。 →35ページ参照
テープ長	ラベル全体の長さを自由に決めます。 →36ページ参照

■設定する(フリーラベルの場合)

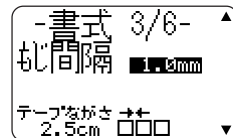
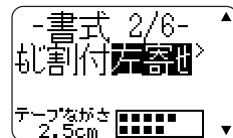
1 文章を入力します。

2 を押します。

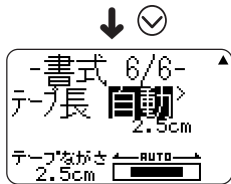
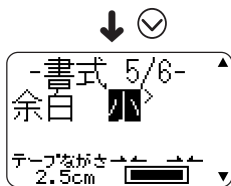
3 各項目を設定します。

- Ⓐ Ⓑ を押して設定項目を選びます。
- Ⓒ Ⓓ を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選ぶ
文字割付	文字のバランス(左寄せ/均等/中寄せ/右寄せ)を設定する →37ページ参照
文字間隔	文字と文字の間隔(0.0~31.9mm)を指定する (Ⓒ Ⓓ を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる) ※「文字割付」を「均等」、「テープ長」を「こてい」とした場合は、文字間隔の指定はできません。
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ



余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選ぶ
テープ長	<ul style="list-style-type: none"> 自動:文字数に合わせて自動的にラベルの長さを調節する ラベル全体の長さを任意に設定するときは、(←) (→) を押し、「固定」を選ぶ→36ページ



4 各項目を設定したら、**実行**を押します。

■設定する(用途別ラベル、ナンバリングの場合)

1 文章を入力します。

2 **書式**を押します。

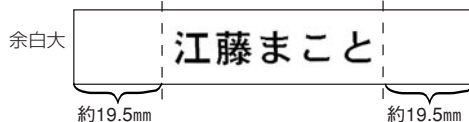
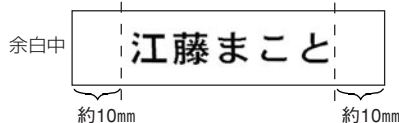
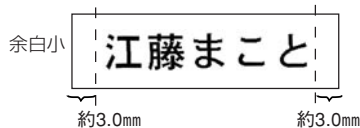
3 (←)または(→)で、「方向」「裏書き」または「余白」を選び、**実行**を押します。

・用途別ラベルでは「余白」を選ぶことはできません。

4 (←)または(→)で、お好みの項目を選び**実行**を押します。

余白について

ラベルの前後につくスペースを**余白**といいます。次の3種類の余白を選べます。



重要! テープの長さが短い(余白小のとき:約22mm、余白中のとき:約29mm、)場合には、余白カットをしないことがあります。印刷が終わった後で、ハサミなどで余白をカットしてください。

送り無


江藤まこと江藤まこと

- ・「送り無」と設定し、連続して印刷すると、ラベルとラベルを密着させて印刷することができます。
- ・「送り無」と設定したときは、テープは自動的にカットされません。テープをカットするときは、**機能**を押し、指を離してから**8**を押してください。先頭のラベル余白は、ハサミなどでカットしてください。

ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。
ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

ラベル全体の長さを自由に設定する(テープ長固定)

- 1 文字を入力します。
- 2 **書式**を押します。
- 3 **↑** **↓**を押して、「テープ長」を画面に表示させます。
- 4 **←** **→**を押して、「テープ長 固定」にし**✓**を押します。

- 5 数値キーまたは**←**(減)・**→**(増)を押して、ラベルの長さを設定します。

• テープ長さを入力されている文字により、次のようになります。



* 文字が印刷方向に50%縮小されて印刷されます。また、印刷されたテープは指定より長くなります。

- 6 **実行**を押します。

文章のバランスを整える(割付)

文字や文章のバランスを整えることができます。

左寄せ

江藤まこと

均等

江 藤 ま こ と

中寄せ

江藤まこと

右寄せ

江藤まこと

1 文字を入力します。

2 **書式**を押します。

3 **Ⓐ** **Ⓜ**を押して、「もじ割付」の設定画面にします。



4 **Ⓐ** **Ⓜ**を押して、希望の割付の種類を表示させます。

Ⓐ **Ⓜ**を押すたびに、**均等** **中寄せ** **右寄せ** **左寄せ** と割付の種類が変わります。

5 **Ⓐ** **Ⓜ**を押して、「テーブル長」を画面に表示させます。

6 **Ⓐ** **Ⓜ**を押して、「テーブル長 **固定**」にし、**Ⓜ**を押します。



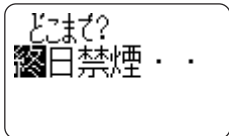
数値が反転します

7 数値キー、または**Ⓐ** (減)・**Ⓜ** (増)を押して、希望の数字(ラベルの長さ)にし、**実行**を押します。
元の長さより長い数値にします。

2行以上の文章のときは、「テーブル長 自動」を選んでも、割り付けすることができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等
下期 販促資料①	下期 販促資料①	下期 販促資料①	下 期 販促資料①

- 6 ◀ ▶ を押して大きさを定める最初の文字にカーソルを合わせ、**[実行]**を押します。
ここでは「終」を指定します。



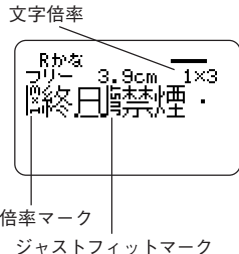
- 7 ◀ ▶ を押して大きさを定める最後の文字を選び、**[実行]**を押します。
ここでは「終日」にします。

文字倍率：カーソルが合っている文字の大きさをあらわします。

倍率マーク：印刷される文字の大きさをあらわします。

ジャストフィットマーク：

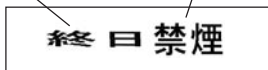
自動的につかます。このマークよりうしろの文字はジャストフィット印刷に従った大きさで印刷されます。



- 倍率マークやジャストフィットマークは画面だけの印ですので、印刷されません。
- 文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを**[文字削除]**で削除します。

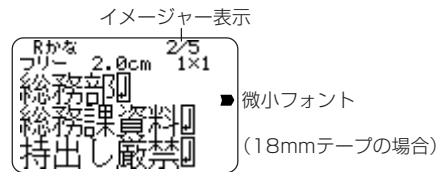
※倍率マークを削除した場合、文字サイズはテープ幅や入力文字の行数に合わせて自動設定されます。
ただし、削除した倍率マークよりも左側に倍率の指定があるときは、その倍率になります。

文字の大きさ1×3 ジャストフィット印刷



微小フォントについて

- 行数(入力した行数または選んだフォーマットの行数)と、テープ幅によって、「微小フォント」となります(61ページ)。
- このとき、画面右の「**微小フォント**」が点灯します。
- フリーラベルでは、分数でイメージャー表示されます。



- イメージャー表示については、「2行以上のラベルを作る」の手順3(33ページ)をご覧ください。
- 微小フォントには、次のような特徴があります。
 - フォントの設定は、無効です(すべて同じフォントで印刷されます)。
 - 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
 - 絵文字は、きれいに印刷できないことがあります。



印刷するときは、42ページの注意事項をご覧ください。

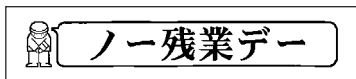
フレームをつける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームをつけることができます。
フレームの一覧は79ページをご覧ください。



















重要 3.5mm幅テープにフレームをつけることはできません。



[印刷例]



(18mm幅テープ/フレーム番号=52)

- 1 文字を入力します。
- 2  を押します。
- 3     を押して使うフレームを選び、 を押し
ます。
ここでは  を選びます。
- 4   で  を選び、 を押します。
- 5 数字キー(または  )を押して印刷枚数を設定し  を押し
ます。
印刷が開始されます。
1~100枚まで設定できます。
 -  を押す前に  を押すとカットモードが指定できます(42ページ)。  を押して指定します。
 - 「文字修飾」の指定は無効になります。

フレーム印刷できる行数

テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

	24/18mm幅	12mm幅	9mm幅	6mm幅
フレーム印刷できる行数	4行以内	3行以内	2行以内	1行

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面(45ページの最初の画面)表示中に^{縦書印刷}を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書印刷

資料ファイル

縦横同時印刷

資料ファイル

資料ファイル

縦書き(1枚目)、横書き(2枚目)がセットで印刷されます。

- フリーラベル以外では、^{縦書印刷}や^{機能} ^{縦横同時印刷} ^{縦書印刷}は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、書式設定画面(34ページ)で「縦書き」を設定してください。

1 文字を入力します。

2 ^{縦書印刷}を押します。
縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、^{機能}を押し、指を離してから^{縦横同時印刷} ^{縦書印刷}を押します。

3 数字キー(または^{◀ ▶})を押して印刷枚数を設定し、^{実行}を押します。

印刷が開始されます。

1~100枚まで設定できます。

- ^{実行}を押す前に[✓]を押すとカットモードが指定できます(42ページ)。^{◀ ▶}を押して指定します。



印刷するときは、42ページの注意事項をご覧ください。

印刷とカットモード

印刷するときには以下の点に注意してください。

- 24ページ「ラベルを貼る」、「テープを空送りする」、「テープの余白を送り無にしたときは」をご参照の上、操作してください。



- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。(10ページ)
- 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」までさわらないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、**[取消]**を押して印刷を中止してください。
- テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープがつまったり、故障の原因になります。
- 1度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

カットモードについて

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。また、テープによっては、本機のカッターでカットするとカッター部が摩耗し、故障の原因となることがありますので、注意してください。

※下記のテープは特殊なテープです。必ず下表を確認し、「カットしない」に設定して使用してください。

<ul style="list-style-type: none">• マグネットテープ• 反射テープ	カットしない
--	--------

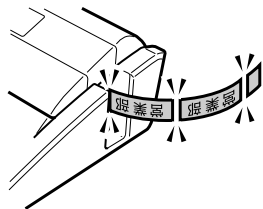
■2つのカットモード

カットモードには2つあります。

- カットモードは、「印刷する」の手順4(23ページ)で設定します。
- 余白の設定によって、カットのしかたと余白部分の長さは異なります。詳しくは「カットのしかたと余白について」(44ページ)をご覧ください。
- 書式で「余白 送り無」に設定したときは、どちらのカットモードを選択しても、カットはされません。(24ページ)
- テープの長さが「余白小のときは、約22mm以下」、「余白中のときは、約29mm以下」の場合は、自動的にカットされないことがあります。印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

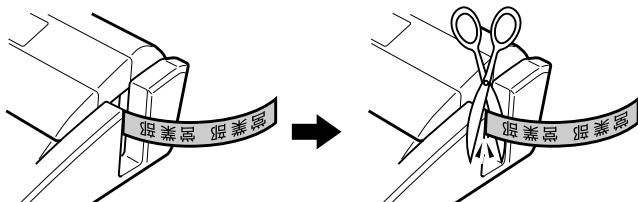
●カットする

- ラベルごとにかットします。
※2枚以上印刷するときは、カットされたラベルがテープ出口をふさがないようにご注意ください。テープ出口をふさいでしまうと、テープづまりや故障の原因となります。
- 「余白 小」「余白 中」を設定してあるときは、印刷中に、余分なテープが自動的にフルカットされます。



●カットしない

- ラベル間はカットしません。
- マグネット・反射テープに印刷するときは、必ず「カットしない」に設定してください。
- 印刷終了後、**機能** を押し、指を離してから **9** を押し、テープ送りをしたあと、ハサミなどでラベルをカットしてください。



反射テープとマグネットテープについて

反射テープとマグネットテープは特殊な処理をしてあるテープです。カットするときは、下記の手順にしたがってハサミなどをお使いください。

なお、本機で反射テープやマグネットテープをカットすると、カッター部分の寿命が短くなることがあります。ご注意ください。

- 書式で、余白を「送り無」にする(35ページ)
またはカットモードで「カットしない」にする
- 印刷する
- 機能** **9** と押し、テープ送りをする
- 反射テープまたはマグネットテープを取り出し、ハサミなどを使ってカットする
※ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

カットのしかたと余白について

カットモードと余白の設定によって、カットのしかたと余白の長さは異なります。

カットモード		カットする		カットしない	
余白	カットのタイミング	部分の先頭の余分なカット	1枚終了のごとくカット	部分の先頭の余分なカット	1枚終了のごとくカット
	余白小	カット	フルカット	フルカット	無し
余白		21.5mm	3mm	21.5mm	3mm
余白中	カット	フルカット	フルカット	無し	無し
	余白	21.5mm	10mm	21.5mm	10mm
余白大	カット	無し	フルカット	無し	無し
	余白	—	19.5mm	—	19.5mm
送り無	カット	無し	無し	無し	無し
	余白	—	—	—	—

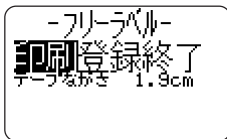
作成したデータを登録する・呼び出す

作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを登録といいます。

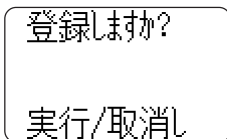
登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

データを登録する

文字の入力が終わるとこの画面になります。



1 ◀ ▶ を押して登録を選び、実行を押します。



2 実行を押します。
「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

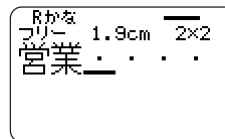


登録データは1件のみです。上書きで登録されます。
すでに登録データがある場合には、新たに登録することで前の登録データは失われます。

登録したデータを呼び出す

登録したデータは、メインメニュー(28ページの1の画面)から呼び出します。

1 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して「登録データ」を選び、実行を押します。



データが呼び出されます。
必要に応じて、修正・印刷してください。

MEMO

入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、文字修飾の指定についても説明しています。

カーソルのはたらきと動かしかた

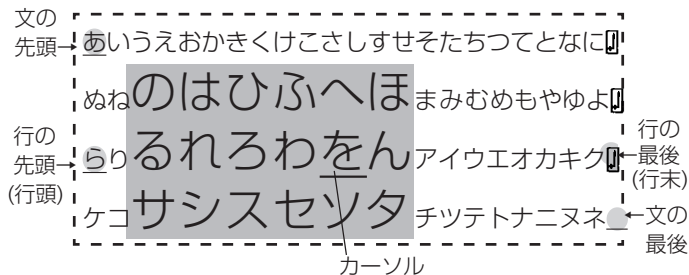
画面上で点滅している **_** をカーソルといいます。カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



■カーソルの動かしかた

カーソルは **⬆** **⬇** **⬅** **➡** を押して動かします。



⬅	左にカーソルが移動する	➡	右にカーソルが移動する
⬆	上にカーソルが移動する	⬇	下にカーソルが移動する
機能 を押し、指を離してから ⬅ を押す	行の先頭にカーソルが移動する	機能 を押し、指を離してから ➡ を押す	行の最後にカーソルが移動する
機能 を押し、指を離してから ⬆ を押す	文の先頭にカーソルが移動する*	機能 を押し、指を離してから ⬇ を押す	文の最後にカーソルが移動する*

*フリーラベル以外では無効です。

スクロールとは
画面にかくれている文字を見るためには、**⬅** **➡** を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これを**スクロール**といいます。(**⬅** **➡** を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。)

ローマ字入力?それともかな入力?

キーを押して文字を画面にあらわすことを、**入力**といいます。
文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

・ローマ字入力とは…

アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。

・かな入力とは…

直接ひらがななどを入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

ローマ字入力とかな入力を切り換える

機能 を押し、指を離してから **あア** を押し



・「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まず **あア** を押し、「Rかな」または「かな」を表示させます。

「設定」で切り換えるには

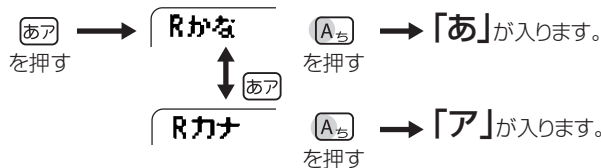
- 1 **設定** を押しします。
- 2 **↑** **✓** を押して「入力設定」を選び、**実行** を押しします。
- 3 **↑** **✓** **←** **→** を押して「かな」または「ローマ字」を選び、**実行** を押しします。

入力する文字の切り替え方法

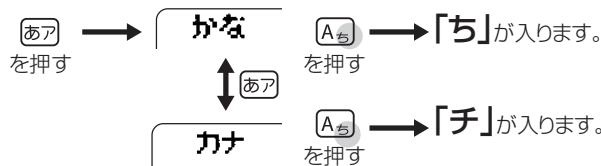
文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。
あア や **aA** を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り換えます。
ここでは **Aち** を例にとって、説明します。

ひらがな・カタカナの入力

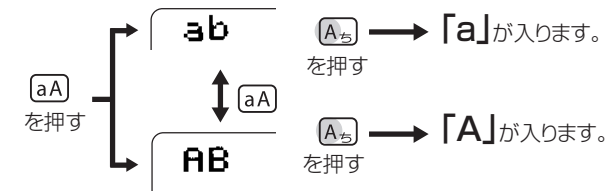
■ローマ字入力の場合



■かな入力の場合



アルファベット(大文字・小文字)の入力



入力・編集編

ローマ字入力?それともかな入力?

ひらがな・カタカナの入力

ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなの入力

【例】 さくら

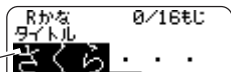
1 **あア**を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

- かな入力のときは、「かな」を表示させます。(48ページ)



2 **S**と**A**と**K**と**U**と**R**と**A**とを押します。

- かな入力のときは、**X**と**H**と**O**とを押します。

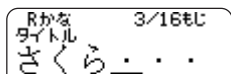


ひらがなを入力している最中は、
■が文字に重なっています

3 **無変換**または**実行**を押します。

「さくら」が確定します。

- 「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

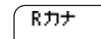


カタカナの入力

【例】 サクラ

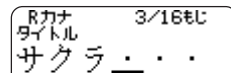
1 **あア**を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

- かな入力のときは、「カナ」を表示させます。(48ページ)



2 **S**と**A**と**K**と**U**と**R**と**A**とを押します。

- かな入力のときは、**X**と**H**と**O**とを押します。



カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する(カタカナ変換)

例 サクラ

① ひらがなで「さくら」と入力します。

② **さくら**となっているときに、**機能**を押し、指を離してから

無変換を押します。

カタカナ変換

さくらが「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	[I _ロ] [T _カ] [T _カ] [A _チ]	[E _イ] シフト [Z _ツ] [Q _カ]*
拗音	きょう	[K _ロ] [Y _ン] [O _ス] [U _ナ]	[G _キ] シフト [9 _ヨ] [4 _ス]*
濁音	ぼく	[B _ロ] [O _ス] [K _ロ] [U _ナ]	[= _ホ] [@ _ニ] [H _ク]
半濁音	ぱぱ	[P _セ] [A _チ] [P _セ] [A _チ]	[F _ハ] [↑ _フ] [F _ハ] [↓ _フ]
句点	。	[> _ク]	シフト [> _ク]
読点	,	[< _ク]	シフト [< _ク]
長音	ー	[¥ _?]	[¥ _?]
中点	・	シフト [∕ _め]	シフト [∕ _め]
を		[W _ロ] [O _ス]	シフト [0 _ネ]
ん		[N _み] [N _み]	[Y _ン]
ヴ		「Rカナ」表示のときに [V _ひ] [U _な]	「カナ」表示のときに [4 _ス] [@ _ニ]
カ		[X _カ] [K _ロ] [A _チ] または [K _ロ] シフト [A _チ]	シフト [T _カ]
ケ		[X _カ] [K _ロ] [E _イ] または [K _ロ] シフト [E _イ]	シフト [: _キ]
空白		[空白]	[空白]

* [シフト] を押し、指を離してから文字キーを押すと小文字(促音・拗音)になりますが、「つやゆあいう」など促音・拗音にすることができる文字に限りです。

- ・ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」(74ページ)をご覧ください。
- ・,(カンマ) .(ピリオド)の入力方法については、53ページをご覧ください。

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します(例:「花」→「はな」)。

ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、[実行] を押し、ほかの文字に変わらないように**確定**します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

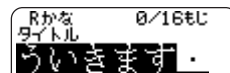
- ・文章を入力してから変換する
- ・同音異義語を変換する(例:公園、後援など)
- ・漢字1文字分ずつ変換する(当て字やむずかしい固有名詞などの変換)

文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。まとめて変換できる文字数は、32文字までです。

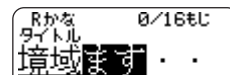
【例】 今日行きます

1 「きょういきます」をひらがなで入力します。



2 [変換] を押します。

「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。

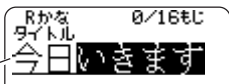


「境域」に下線がついています

3 ◀を2回押します。

「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。

「今日」に変換されます



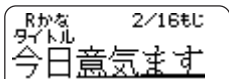
4 [実行]を押します。

「今日」が確定されます。

「いき」と「ます」という2つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「意気」に変換されます

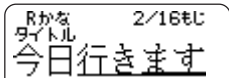
5 ▶を2回押します。

「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。



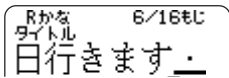
6 [変換]を何回か押して、「行きます」にします。

[変換]を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉が次々と表示されます。



7 「行きます」が表示されたら、[実行]を押します。

「行きます」が確定されます。



カーソルと下線の違い

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときにつく下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

- 下線がついているときに[取消]を押すと、「よみ」の状態に戻ります。



「よみ」を入れて[変換]を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。(52ページ)

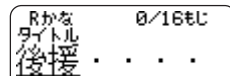
同音異義語を交換する

複数の漢字が当てはまる「よみ」(同音異義語)を変換する方法を説明します。

【例】 公園

1 「こうえん」と入力し、[変換]を押します。

「こうえん」に合った漢字の候補が表示されます。

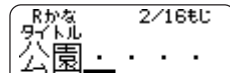


2 [変換]を何回か押して、「公園」にします。

[変換]を押すたびに、「こうえん」に当てはまる言葉が次々と表示されます。

3 「公園」になったら、[実行]を押します。

「公園」が確定されます。

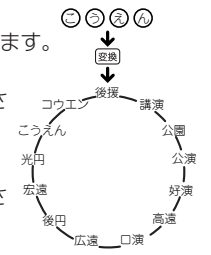


変換のルール

まず[変換]を押して、ひらがなを漢字に変換します。

[変換]または[実行]を押すと、次の漢字が表示されます。

[機能]を押し、指を離してから[変換]を押す、または[戻る]を押すと、1つ前の漢字が表示されます(前候補)。

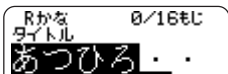


漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換)

当て字やむずかしい固有名詞などを変換するときは、1文字ずつ目的の漢字に変換します。

【例】 敦廣(あつひろ)

1 「あつひろ」をひらがなで入力します。



2 **変換**を何回か押します。
何回押しても、「敦廣」に変換されません

3 **単漢字**を押します。

- もう一度**単漢字**を押すと、「あ」に当てはまる漢字が表示されます。もう一度**単漢字**を押すと、「あつ」に当てはまる漢字が表示されます。



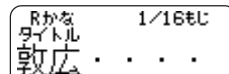
「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

4 **↶** **↷** **↵** **➤**を押して、**敦**にします。



5 **実行**を押します。

「敦」が確定されます。



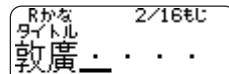
「広」に下線が付きま

6 **変換**を何回か押して、「廣」にします。

- 単漢字**を押して「廣」を探すこともできます。

7 「廣」になっていることを確かめて、**実行**を押します。

「廣」が確定されます。



思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

- ・「週(しゅう)」を「しゅう」と入力している
- ・「図(ず)」を「づ」と入力している
- ・「通り(とおり)」を「とうり」と入力している
- ・「社食(しゃしょく)」「道交法(どうこうほう)」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。

- ・「あ」「い」「う」「え」「お」「や」「ゆ」「よ」の拗音
- ・「っ」の促音
- ・「ず」と「づ」
- ・「じ」と「ぢ」
- ・「お」と「う」

まとめ...



アルファベットや数字の入力

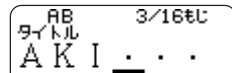
アルファベット、数字の入れかたを説明します。

アルファベット(大文字)の入力

【例】 A K I

1 [aA]を何回か押して、画面の左上に「AB」を表示させます。

2 [Aち][Kの][Iに]と押します。
アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



- **カンマ(,) ピリオド(.)を入力するには**
画面の左上に「AB」または「a b」と表示されているときに、次のキーを押します。
カンマ：[,] ピリオド：[.]
- **大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには**
「AB」表示のとき ... [シフト] を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります
例 TAKESHI's
「a b」表示のとき ... [シフト] を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。
例 English
- ひらがなを入力するときは、[あア]を何回か押して、画面の左上に「Rかな」(または「かな」)を表示させます。

入力・編集編
アルファベットや数字の入力

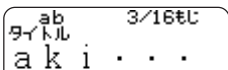
アルファベット(小文字)の入力

【例】 a k i

1 (aA)を何回か押して、画面の左上に「a b」を表示させます。

2 (A) (K) (I)と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



数字の入力

【例】 1 2 3

■ローマ字入力するとき

1 (1!) (2!) (3!)と押します。

数字は、ひらがな・カタカナ・アルファベットなど、どの入力中でも使えます。

■かな入力するとき

1 (aA)を押して、画面の左上に「a b」または「A B」を表示させます。

2 (1!) (2!) (3!)と押します。

記号の入力

ふつうの文字のほかに、いろいろな記号を入れることができます。

キーに印刷されている記号

②キーの右上に印刷された記号



①キーの左に印刷された記号

■ローマ字入力の場合

① (:*)を押すと → 「:」が入ります。

② (シフト) を押し、指を離してから (:*) を押すと → 「*」が入ります。

■かな入力の場合

① (aA) → (AB) タイトル (:*) を押し、指を離すと → 「:」が入ります。

または

(ab) タイトル

② (aA) → (AB) タイトル (シフト) を押し、指を離してから (:*) を押すと → 「*」が入ります。

または

(ab) タイトル

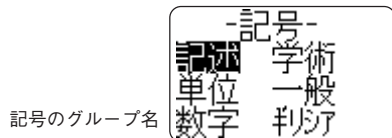
その他の記号

魚♂注☞⑫ など

記号は「記述・カッコ」「学術」「単位・略」「一般」「数字」「ギリシア・ロシア」の6つのグループに分かれています。76～77ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

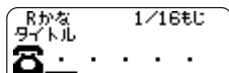
【例】 ☎ (グループ=単位・略)

1 [機能] を押し、指を離してから [記号] (5) を押します。



2 (↑)(↓)(←)(→) を押して [単位] にし、 [実行] を押します。

3 (↑)(↓)(←)(→) を押して [☎] にし、 [実行] を押します。



絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は20のグループに分かれています。

77～78ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。

また、文字体の指定は無効です。

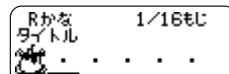
【例】 🍷 (グループ=食べ物)

1 [機能] を押し、指を離してから [絵文字] (6) を押します。



2 (↑)(↓)(←)(→) を押して [🍷] にし、 [実行] を押します。

3 (↑)(↓)(←)(→) を押して [🍷] にし、 [実行] を押します。



文字を修正・削除するときは

文字を間違えて入力したときの直しかたと、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。

フリーラベルでは、範囲を指定して削除することもできます。

間違った文字を消す

■文字を1文字ずつ消す(カーソルの上の文字を消す)

【例】 「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」に直す

1 ⏪ ⏩ を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。

Rカナ 5/16セル
タイトル
フファイル・

2 [文字削除] を押します。

「ファイル」になります。

Rカナ 4/16セル
タイトル
ファイル・

■文字を1文字ずつ消す(カーソルの前の文字を消す)

【例】 「ファイルル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」に直す

1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。

Rカナ 5/16セル
タイトル
ファイルル・

2 [後退] を押します。

「ファイル」になります。

Rカナ 4/16セル
タイトル
ファイル・

確定前に文字を消すには…

ふいふあいるなど、文字に[]が重なっているとき(確定前)に文字を消すときも、[文字削除]または[後退]を押して消します。

また、[取消]を押すと、[]が重なっている文字がぜんぶ消えます。

確定→53ページ

すべての文字を消す(文削除)

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 **機能** を押し、指を離してから **文字削除** を押します。

- 文削除をやめるときは、**取消し** を押しします。
- フリーラベルでは「全文削除」と「部分削除」の選択画面が表示されますので、ここで「全文削除」を選んで**実行**を押します。

削除しますか?
ファイル...

2 **実行** を押します。

- 画面にあった文字はすべて消えます

■範囲を決めて消す(フリーラベルのみ)

消したい部分のはじめと終わりを指定して消す方法です。

【例】 「あおきおさむ」を「おさむ」にする

1 **機能** を押し、指を離してから **文字削除** を押します。

2 **⤴** **⤵** を押して**部分削除**を選び、**実行**を押します。

操作をやめるときは**取消し**を押します。

どこから?
あおきおさむ

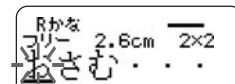
3 **⤴** **⤵** を押して消したい部分の最初の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。

ここでは「あ」にカーソルを合わせます。

どこまで?
あおきおさむ

4 **⤴** **⤵** を押して消したい部分の最後の文字を指定し、**実行**を押します。

ここでは**あおき**にします。

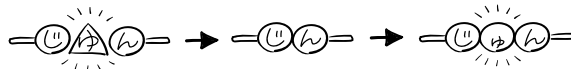


間違った文字を直す

間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

挿入

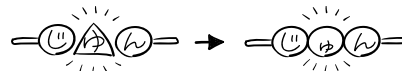
文字と文字の間に新しい文字を追加して入力することができます。



間違った文字を消してから正しい文字を入力します(その逆でも可)。

上書き

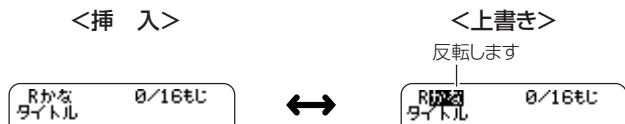
画面に表示されている文字を新しい文字に入れ替えることができます。



間違った文字の上に正しい文字を入力します。

■「上書き」にするとき

シフト を押し、指を離してから **あア** を押します。

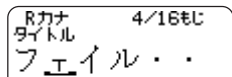


もう一度 **シフト** を押し、指を離してから **あア** を押すと、「挿入」状態に戻ります。

【例】 「フェイル」を「ファイル」に直す

■間違った文字を消して正しい文字を入力する(「挿入」状態)

1 **⏪ ⏩** を押して「エ」にカーソルを合わせます。

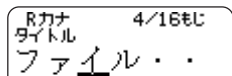


2 **文字削除** を押します。

「エ」が削除され、「イ」が「エ」の位置に移動します。

3 「ア」を入力します。

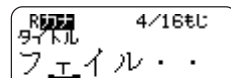
- ・「ア」は **シフト** を押し、指を離してから **A** を押して入力します。



「ア」が「イ」の前に入力されます

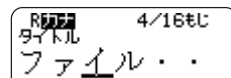
■間違った文字の上に正しい文字を入力する(「上書き」状態)

1 **⏪ ⏩** を押して「エ」にカーソルを合わせます。



2 「ア」を入力します。

「エ」が「ア」になります



「設定」で切り換えるには

- 1 **設定** を押します。
- 2 **⏶ ⏷** を押して「入力設定」を選び、**実行** を押します。
- 3 **⏪ ⏩** を押して「上書き」または「挿入」を選び、**実行** を押します。

文字を入れるときは

「上書き」のときは、入力済みの文字が消されて新たな文字に入れ替わります。間違って必要な文字を入れ替えることのないように、文字を入力するときは「挿入」にすることをおすすめします。

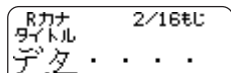
文字が抜けていたら…

「挿入」状態のときには、文字を追加することができます。(57ページ)

【例】 「データ」を「データ」にする

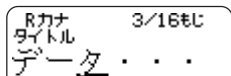
1 ⏪ ⏩ を押して、「タ」にカーソルを合わせます。

「タ」の前に文字を入力するためです。



2 「ー」(長音)を入力します。

「タ」の前に「ー」が入り、「データ」になります。



確定前に文字を直したり追加するには…

ふえいるなど、文字に■が重なっているとき(確定前)に文字を直したり追加するときも上と同じ操作で直します。

確定→53ページ

「上書き」で文字を直すときは

直す文字数に注意してください。直す文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。

書体(フォント)を変える

入力済みの文字の形(書体)を、和文2書体・欧文4書体の中から選ぶことができます。

また電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明しています。

■和文書体

明朝体	ゴシック体
亜あ	亜あ

■欧文書体

明朝体	ゴシック体
AB12	AB12
ステンシル	ポップ
AB12	AB12

- ・メモリーリセット後は、「和文：明朝体」「欧文：明朝体」に設定されています。

- 欧文書体は、次の文字が指定の対象になります。
 - アルファベット(A～Z a～z)
 - 数字(1 2 3 4 5 6 7 8 9 0)
 - 記号の一部(, . ? ! ~ () ¥ % スペース)

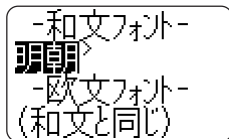
入力済みの文字の書体を変える

ヒーリングMUSIC集

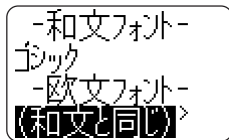
[例] (「ヒーリング」「集」をゴシック体に、「MUSIC」をステンシルにする)

1 文字を入力します。

2 **フォント**を押します。

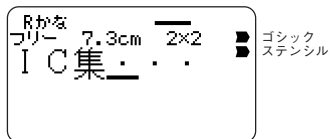


3 **◀ ▶**を押して**ゴシック**を選び、**✔**を押します。
(和文の書体の種類を選びます。)



4 **◀ ▶**を押して**Aステンシル**を選び、**実行**を押します。
(欧文の書体の種類を選びます。)

設定後、文字入力の画面に戻ります。



電源を入れたときの書体を決める

1 **設定**を押します。

2 **⏪ ⏩**を押して**初期フォント**にし、**実行**を押します。

3 **⏪ ⏩**を押して和文フォントを選んだ後、**◀ ▶**を押してフォント名を選びます。

4 **⏪ ⏩**を押して欧文フォントを選んだ後、**◀ ▶**を押してフォント名を選びます。

5 **実行**を押します。

6 **OFF**を押して一度電源を切り、再び**ON**を押して電源を入れます。

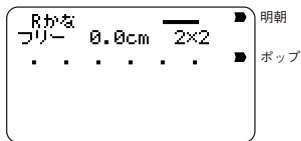
7 文字入力の画面を表示させます。

文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

●「登録データ」や「前回データ」を選択し呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

画面表示について

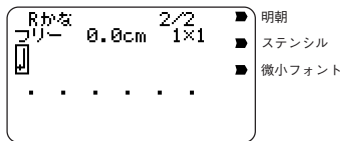
- 入力中の文字の書体を■で示します。



- 欧文書体は書体ごとに大きさ、バランスが設定されていますので、混在させるとバランスが不釣り合いになることがあります。

微小フォントについて

印刷するときは行数(入力した行数または選んだフォーマットの行数)とテープ幅によって微小フォントで印刷されます。このとき、画面右に「微小フォント」の■が点灯します。



- 微小フォントには、次のような特徴があります。
- フォントの設定は無効です。(すべて同じフォントで印刷されます)
- 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- 絵文字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」にして目立たせることができます(文字体)。

- 絵文字は、文字体の指定はできません。

標準

太字

住所録 住所録

白抜

住所録

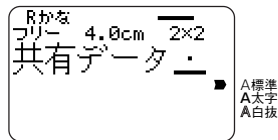
1 文字を入力します。

2 [機能] を押し、指を離してから [文字] を押します。



3 [↑][↓][←][→] を押して文字体の種類を選び、[実行] を押します。

- [A標準] を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。
- 設定後、文字入力の画面に戻ります。



画面右の「A標準」・「A太字」・「A白抜」に■がつかます。

文字に飾りをつける

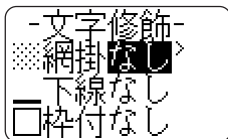
フリーラベルでは、文字に網を重ねたり、下線をつけたり、枠をつけたりすることができます。

また、用途別ラベルでは、フォーマットにより枠をつけることができます。

網 掛	下 線	枠 付
修飾	修飾	修飾

文字修飾を指定する

- 1 文字を入力します。
- 2 **機能** を押し、指を離してから **文字修飾** を押します。
- 3 **上** **下** を押して文字修飾の種類を選びます。
 - 用途別ラベルでは「枠付」に固定されています。「網掛」「下線」を選ぶことはできません。
- 4 **左** **右** を押して手順3で選んだ文字修飾の「なし/あり」を選び、**実行** を押します。
 - 設定後、文字入力画面に戻ります。



こんな文字修飾もできます

網掛、下線、枠付の飾りを重ねてつけることもできます。

特売

網掛+枠付

特売

網掛+下線

- 文字の大きさによっては、以下の現象が起きることがあります。
 - 枠と文字が重なって印刷される。
 - 下線と文字が重なって印刷される。
 - 枠と下線が重なって印刷される。

設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

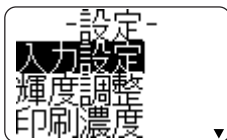
設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

電源を入れて最初に**設定**を押すと、右の画面が表示されます。

⬆️⬇️で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。



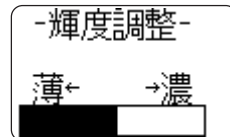
- 電源を入れた直後以外の画面では、一部の項目が画面に表示されないことがあります。

設定項目		内容	ページ
入力設定	挿入/上書き	文字の入力方法を定める	57
	ローマ字入力/かな入力	日本語の入力方法を定める	48
輝度調整		画面の濃淡を調整する	63
印刷濃度		印刷の濃さを調整する	64
初期フォント		入力文字の最初の書体を定める	60
デモ印刷		ラベルの印刷例を印刷します。	64

画面の明るさを変えたい

画面の表示が見えにくいときは、画面の明るさ(コントラスト)を調整することができます。

- 設定**を押します。
- ⬆️⬇️を押して**輝度調整**を選び**実行**を押します。
- ⬅️➡️を押して明るさを調整し、**実行**を押します。
⬅️を押すごとに薄く、➡️を押すごとに濃くなります。



印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

- 1 **設定**を押します。
- 2 **▲▼**を押して**印刷濃度**を選び、**実行**を押します。
- 3 **◀▶**を押して濃さを設定し、**実行**を押します。


1 にすると1番薄く印刷され、**5** にすると1番濃く印刷されます。



- 印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

サンプルデータを印刷する(デモ印刷)

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなラベルが作れるかを確認することができます。

- 重要**  デモ印刷を行うと、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータの場合には、登録してから印刷をしてください。また、ノートなどに控えをとっておいてください。(データの登録→45ページ)

- 1 テープカートリッジがセットされていることを確認します。
 - テープカートリッジについて→17ページ
- 2 電源が入っているときは **OFF** を押して電源を切ります。
- 3 **ON** を押して電源を入れます。
- 4 **設定**を押します。
- 5 **▲▼**を押して**デモ印刷**を選び、**実行**を押します。
- 6 **◀▶**を押して**印刷**を選び、**実行**を押します。
- 7 「枚数 1枚」「カットモード カットする」になっていることを確認します。
 - 印刷枚数やカットモードを変更することもできます。(42ページ)
 - 特殊なテープで印刷するときは、テープカートリッジに合わせて、カットモードを変更してください。(42ページ)
- 8 **実行**を押します。
 - 印刷が始まります。
 - セットしているテープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。

9 印刷が終了したら<>を押して終了を選び、実行を押します。
「終了しますか?」と表示されます。

10 実行を押します。

MEMO

付 録

電源について

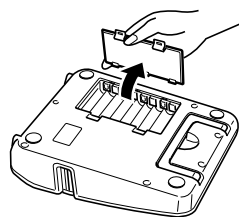
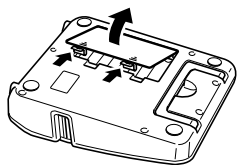
本機を使うときは、電源として同梱のACアダプターのほかに、市販のアルカリ乾電池を使うことができます。

乾電池で使う

市販の単3形アルカリ乾電池を8本使用します。(必ずアルカリ乾電池をご使用ください。)

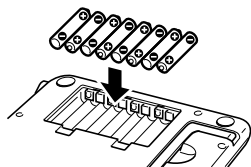
1 本体裏側の乾電池カバーを取り外します。

乾電池カバーに無理な力(逆に曲げるなど)を加えないでください。故障の原因となります。

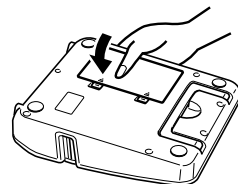


2 乾電池をセットします。

⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。



3 乾電池カバーを取り付けます。



- アルカリ電池が消耗した状態で使用すると、印刷中に電源がOFFになることがあります。同梱のACアダプターでお使いになることをおすすめします。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境でご使用ください。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、乾電池やACアダプター(13ページ)を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章や本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「電池からACアダプターに切り替えるとき」「ACアダプターから電池に切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってからACアダプターの接続や電池のセットをしてください。電源を入れた状態で行うと、自動的に電源が切れて、作成中の文章が消去される場合があります。
- 松下電池工業製オキシライド乾電池ZR6Yを使用して印刷しているときは、電池消耗メッセージが出る前に本機の電源が切れることがあります。

電池寿命について

標準印刷条件で、18mmテープカートリッジ約2巻分の印刷ができます。

- 黒い部分の多い文字を印刷したり、低温下で使用した場合は、電池寿命は短くなります。
- 長期間ご使用にならない場合は、アルカリ乾電池を取り外して保管してください。
- 本機をご使用にならない場合も、2年に1度は必ず乾電池を交換してください。

⚠ 危険

アルカリ電池について

- ❗ アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
 1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
 2. ただちに医師の治療を受ける。そのままにしておくこと失明の原因となります。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- ⊘ 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- ❗ 極性(+と-)の向き)に注意して正しく入れる

⚠ 注意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊘ 本機で指定されている電池以外は使用しない
- ❗ 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

- ⊘ 本機電池収納部内の電池パネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池パネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーがよごれていると、ラベルにきれいに印刷されません。次の手順にしたがって、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。

綿棒できれいにする

- 重要👉 • プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などのやわらかいもので行ってください。また、綿棒は極細タイプをお使いになることをおすすめします。

1 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

- テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

2 アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面をふきます。

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的にふいてください。



- ゴムローラーは、**機能**を押し、指を離してから**9**を押すと回転します。
- 市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。

クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ(XR-24CLE)を使うこともできます。

- 1 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。
 - ・テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。
- 2 クリーニングテープを本機に装着します。
- 3 **ON** を押して電源を入れます。
- 4 **機能** を押し、指を離してから **9** を押し、「テープ送り」を1～2回行います。
詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご参照ください。

本体もお手入れしましょう

やわらかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。



本体を傷つけるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

こんなときは (トラブルシューティング)

本機がうまく動かないときには、次の対処方法にしたがってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、もよりの本機取扱店、もしくはカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
● ON を押ししても何も表示されない	画面の明るさが適切でない	画面の明るさの設定を調整してください。(63ページ)
	ACアダプターがきちんと接続されていない	ACアダプターを正しく接続してください。(13ページ)
	乾電池が消耗している、または指定以外の乾電池を使用している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
● 正しく終了するが何も印刷されない	乾電池が正しくセットされていない	正しくセットし直してください。(67ページ)
	「空白」だけが入力されている	印刷したい文章を入力してください。
● 印刷が不鮮明になった	テープが終了している	新しいテープカートリッジと交換してください。
	プリンターヘッドやゴムローラーが汚れている	クリーニングを行ってください。(68ページ)
● 印刷がきれいにできない	乾電池が消耗している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
	テープカートリッジが正しくセットされていない	正しくセットし直してください。
● 印刷が薄い	印刷濃度の設定が薄い	印刷濃度を濃く設定してください。(64ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
●印刷されない	乾電池が消耗している、または指定以外の乾電池を使用している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
●印刷中に電源が切れる	乾電池が消耗している。または指定以外の乾電池を使用している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
●文字が入力できない	機能 を押した状態になっている	取消 を押して、文字が入力できる画面にします。
●目的の漢字に正しく変換されない	正しい「読み」が入力されていない	正しい「読み」を入力してください。特に、拗音(「しょう」の「ょ」など)や促音(「がっき」の「っ」など)の入力には注意しましょう。
	入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている	あア aA を押して変更してください。(48ページ)
● 機能 などの機能キーを押しても画面が変わらない	ひらがなに■が重なっている 例 あか 漢字に下線がついている 例 赤	ひらがなや漢字は必ず確定してください。■が重なっていたり下線がついていたりすると(確定前)、他の機能が使えません。
● 印刷 を押してもテープが出てこない	テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない	カバーをしっかりと閉めてください。(10ページ)
	テープが終了している	新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。(17ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
● 印刷 を押してもテープが出てこない	テープがつまっている	テープカートリッジを取り出して、つまったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、正しくセットし直します。(17ページ) 重要  印刷中に、次のようなことはしないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ●テープ出口をふさぐ ●出てくるテープにさわる ●テープカートリッジ収納部のカバーを開ける ●電源を切る
	乾電池が消耗している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。(67ページ)
●インクリボンがテープにテープ出口からでてきた	インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした	テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、テープを巻きとってください。そのあと正しくセットし直してください。(17ページ) 重要  ●テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみをとってください。 ●インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●テープが切れない	テープカッターが摩耗している	カシオテクノ修理相談窓口に連絡して交換してください。(97ページ)
	テープ出口にテープがつまっている	電源を切って、テープカートリッジを取り出し、つまったラベルを取り除いてください。
	書式の余白が、「送り無」に設定されている	「余白小」、「余白中」または「余白大」に設定し直してください。(35ページ)
	カットモードを「カットしない」に設定している	「カットする」に設定してください。(42ページ)
	ラベルの長さが短い (余白小で約22mm以下 余白中で約29mm以下)	印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
●ラベルが貼れない	裏紙をはがしていない	裏紙をはがしてから貼ってください。(24ページ)
	貼る場所やものが適していない	表面がザラザラしているもの、水や油がついているもの、汚れているものなどには貼れません。(24ページ)

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
行数オーバー 印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> 印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 → 行数を減らすか、テープ幅を変えてください。 	83
行数オーバー フレーム付きで印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> フレーム印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 → 行数を減らすか、テープ幅を変えてください。 	40
候補なし	<ul style="list-style-type: none"> 単漢字変換で候補の漢字がない場合 → 取消し を押して違う読みを入力してください。 	52
指定したテープ長より長くなります 実行/取消し	<ul style="list-style-type: none"> 印刷する場合 → 実行 を押してください。 印刷しない場合 → 取消し を押し、「文字数を減らす」、「テープ長を指定し直す」、または書式内で「テープ長を自動にする」などを行ってください。 	36
数字を入力してください	<ul style="list-style-type: none"> ナンバリング印刷で、何も入力しないで印刷しようとした場合 → 数字を入力してください。 	31
前回データはありません	<ul style="list-style-type: none"> 前回作成したデータがないときに、前回データを呼び出そうとした場合 → 他の作成方法を選んでください。 	16

メッセージ	原因と対処	参照ページ
データ異常 初期化します	<ul style="list-style-type: none"> メモリー初期化をしないで本機を操作した場合 本機が正しく電源OFFする前にACアダプターや電池を抜いた場合 → 実行 を押して、メモリー初期化をしてください。 	15
テープエラー テープカートリッジが不適合です	<ul style="list-style-type: none"> テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない場合 → カバーをしっかりと閉めてください。 印刷しようとしているものに対して、テープカートリッジが不適当な場合 → 電源をOFFしてテープカートリッジを交換してください。 	17
テープエラー テープカートリッジを装着してください	<ul style="list-style-type: none"> テープカートリッジが装着されていない。または、装着のしかたが誤っている場合 → テープカートリッジの状態を確認してください。 	17
プリントエラー テープカートリッジを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> 印刷中に、テープがつまってしまった場合 → 電源をOFFして、テープカートリッジを取り出し、つまったテープを取り除いてください。 	18

メッセージ	原因と対処	参照ページ
プリントエラー テープカートリッジを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> テープカッターに異物がはさまった場合 →電源をOFFして、テープカートリッジを取り出し、テープカッターにはさまった異物を取り除いてください。 	18
	<ul style="list-style-type: none"> ゴムローラーに「ゴミ」や「テープの切れかす」などの異物がついた場合 →ゴムローラーについた異物を取り除き、ゴムローラーをクリーニングしてください。 	68
	<ul style="list-style-type: none"> 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用し、本機内部にある光センサーが誤作動を起こした場合 →強い光が当たらない場所でお使いください。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 電池消耗などにより、正しくテープをカットすることができなかった場合 →同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ電池(別売)と交換してください。 	13、67
	※上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。	97

メッセージ	原因と対処	参照ページ
電池残り少 続行しますか？ 実行/取消し	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池が消耗している場合 →できるだけ早く新しい単3形アルカリ乾電池に交換することをおすすめします。または同梱のACアダプターを使用してください。 10℃以下の低温下で使用した場合 →使用温度範囲(10℃～35℃)でご使用ください。 	67、13
電池残り少 交換してください	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池が消耗している場合 →できるだけ早く新しい単3形アルカリ乾電池に交換することをおすすめします。または同梱のACアダプターを使用してください。 10℃以下の低温下で使用した場合 →使用温度範囲(10℃～35℃)でご使用ください。 	67、13
登録データはありません	<ul style="list-style-type: none"> データが登録されていないときに、呼び出そうとした場合 →データを登録してください。 	45
長さオーバー 印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> 印刷できるテープの長さを超えて印刷しようとした場合 →テープの長さを短くする、または印刷枚数を減らしてください。 	36

メッセージ	原因と対処	参照ページ
長さが短すぎてカットできません 実行/取消し	印刷時に先頭の不要部分のカットができない場合、または、1枚ごとのカットができない場合 <ul style="list-style-type: none"> 印刷する場合 → 実行を押してください。 印刷が終わったら、ハサミなどで切ってください。 自動的にテープカットをしながら印刷をする場合 → 余白を大きく(小→中または中→大)指定し直してください(余白を「大」に指定すると必ず前後の余白をそろえることができます)。 	35、 42
文字が入力されていません	<ul style="list-style-type: none"> 文字を入れないで印刷または印刷プレビューしようとした場合 → 文字を入力してから印刷または印刷プレビューの操作をしてください。 	22

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、つづりかたの一覧表です。

あ 行	あ	ア	い	イ	う	ウ	え	エ	お	オ
	A		I		U		E		O	
か 行	か	カ	き	キ	く	ク	け	ケ	こ	コ
	KA		KI		KU		KE		KO	
	CA				CU				CO	
					QU					
が 行	が	ガ	ぎ	ギ	ぐ	グ	げ	ゲ	ご	ゴ
	GA		GI		GU		GE		GO	
さ 行	さ	サ	し	シ	す	ス	せ	セ	そ	ソ
	SA		SI		SU		SE		SO	
			SHI							
ざ 行	ざ	ザ	じ	ジ	ず	ズ	ぜ	ゼ	ぞ	ゾ
	ZA		ZI		ZU		ZE		ZO	
			JI							
た 行	た	タ	ち	チ	つ	ツ	て	テ	と	ト
	TA		TI		TU		TE		TO	
			CHI		TSU					
だ 行	だ	ダ	ぢ	ヂ	づ	ヅ	で	デ	ど	ド
	DA		DI		DU		DE		DO	
な 行	な	ナ	に	ニ	ぬ	ヌ	ね	ネ	の	ノ
	NA		NI		NU		NE		NO	
は 行	は	ハ	ひ	ヒ	ふ	フ	へ	ヘ	ほ	ホ
	HA		HI		HU		HE		HO	
					FU					
ば 行	ば	バ	び	ビ	ぶ	ブ	べ	ベ	ぼ	ボ
	BA		BI		BU		BE		BO	
ぱ 行	ぱ	パ	ぴ	ピ	ぷ	プ	ぺ	ペ	ぽ	ポ
	PA		PI		PU		PE		PO	

ま行	ま	マ	み	ミ	む	ム	め	メ	も	モ
	MA		MI		MU		ME		MO	
や行	や	ヤ			ゆ	ユ	い	イ	え	エ
	YA				YU		YE		YO	
ら行	ら	ラ	り	リ	る	ル	れ	レ	ろ	ロ
	RA		RI		RU		RE		RO	
	LA		LI		LU		LE		LO	
わ行	わ	ワ	ゐ	ヰ	う	ウ	ゑ	ヱ	を	ヲ
	WA		WI		WU		WE		WO	
ん行	ん	ン								
	NN, N+子音									
	MP+母音									
きゃ行	きゃ	キャ	き	キ	きゅ	キュ	きえ	キエ	きよ	キョ
	KYA		KYI		KYU		KYE		KYO	
ぎゃ行	ぎゃ	ギャ	ぎ	ギ	ぎゅ	ギユ	ぎえ	ギエ	ぎよ	ギョ
	GYA		GYI		GYU		GYE		GYO	
くぁ行	くぁ	クア	く	ク			くえ	クエ	くお	クオ
	QA		QI				QE		QO	
くわ行	くわ	クワ	く	ク	く	ク	くえ	クエ	くお	クオ
	KWA		KWI		KWU		KWE		KWO	
	QWA									
ぐわ行	ぐわ	グワ	ぐ	グ	ぐ	グ	ぐえ	グエ	ぐお	グオ
	GWA		GWI		GWU		GWE		GWO	
しゃ行	しゃ	シャ			しゅ	シュ	しえ	シエ	しよ	ショ
	SYA				SYU		SYE		SYO	
	SHA				SHU		SHE		SHO	
じゃ行	じゃ	ジャ	じ	ジ	じゅ	ジュ	じえ	ジエ	じよ	ジョ
	ZYA		ZYI		ZJU		ZYE		ZYO	
	JA		JU		JE		JO			
	JYA		JYI		JYU		JYE		JYO	
ちゃ行	ちゃ	チャ	ち	チ	ちゅ	チュ	ちえ	チエ	ちよ	チョ
	TYA		TYI		TYU		TYE		TYO	
	CYA		CYI		CYU		CYE		CYO	
	CHA				CHU		CHE		CHO	

ぢゃ行	ぢゃ	ヂャ	ぢ	ヂ	ぢゅ	ヂュ	ぢえ	ヂエ	ぢよ	ヂョ
	DYA		DYI		DYU		DYE		DYO	
つぁ行	つぁ	ツア	つ	ツ			つえ	ツエ	つお	ツオ
	TSA		TSI				TSE		TSO	
てゃ行	てゃ	テャ	て	ティ	てゅ	テュ	てえ	テエ	てよ	テョ
	THA		THI		THU		THE		THO	
でゃ行	でゃ	デャ	で	ディ	でゅ	デュ	でえ	デエ	でよ	デュ
	DHA		DHI		DHU		DHE		DHO	
とう					とう	トゥ				
					TWU					
どう					どう	ドゥ				
					DWU					
にゃ行	にゃ	ニャ	に	ニ	にゅ	ニュ	にえ	ニエ	によ	ニョ
	NYA		NYI		NYU		NYE		NYO	
ひゃ行	ひゃ	ヒャ	ひ	ヒ	ひゅ	ヒュ	ひえ	ヒエ	ひよ	ヒョ
	HYA		HYI		HYU		HYE		HYO	
びゃ行	びゃ	ビャ	び	ビ	びゅ	ビュ	びえ	ビエ	びよ	ビョ
	BYA		BYI		BYU		BYE		BYO	
ぴゃ行	ぴゃ	ピャ	ぴ	ピ	ぴゅ	ピュ	ぴえ	ピエ	ぴよ	ピョ
	PYA		PYI		PYU		PYE		PYO	
ふぁ行	ふぁ	ファ	ふ	フ			ふえ	フェ	ふお	フォ
	FA		FI				FE		FO	
ふゃ行	ふゃ	フャ	ふ	フィ	ふゅ	フュ	ふえ	フェ	ふよ	フョ
	FYA		FYI		FYU		FYE		FYO	
ぶぁ行	ぶぁ	ブア	ぶ	ブ	ぶゅ	ブュ	ぶえ	ブエ	ぶよ	ブョ
	VYA		VYI		VYU		VYE		VYO	
みゃ行	みゃ	ミャ	み	ミ	みゅ	ミュ	みえ	ミエ	みよ	ミョ
	MYA		MYI		MYU		MYE		MYO	
りゃ行	りゃ	リャ	り	リ	りゅ	リュ	りえ	リエ	りよ	リョ
	RYA		RYI		RYU		RYE		RYO	
	LYA		LYI		LYU		LYE		LYO	
ヴぁ行	ぶぁ	ヴァ	ぶ	ヴィ	ぶ	ヴ	ぶえ	ヴェ	ぶお	ヴォ
	VA		VI		VU		VE		VO	

記号

●数字

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59
 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79
 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99

●ギリシア・ロシア

Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ
 Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π
 ρ σ τ υ φ χ ψ ω Α Β Γ Δ Ε Ε Ж З И Й К
 Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю
 Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с
 т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я

絵文字

●オフィス



●スケジュール



●天気



●注意

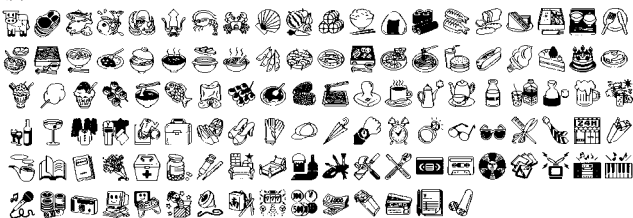


絵文字

●案内



●店



●食べ物



●暮らし



●乗り物

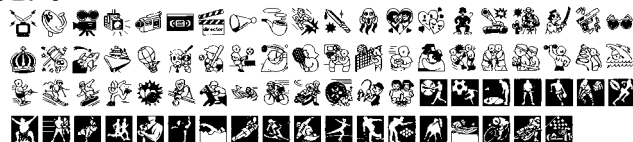


絵文字

●季節



●ビデオ



●オーディオ



●おもしろ



●趣味



●スポーツ



●人物



絵文字

●生き物



●干支



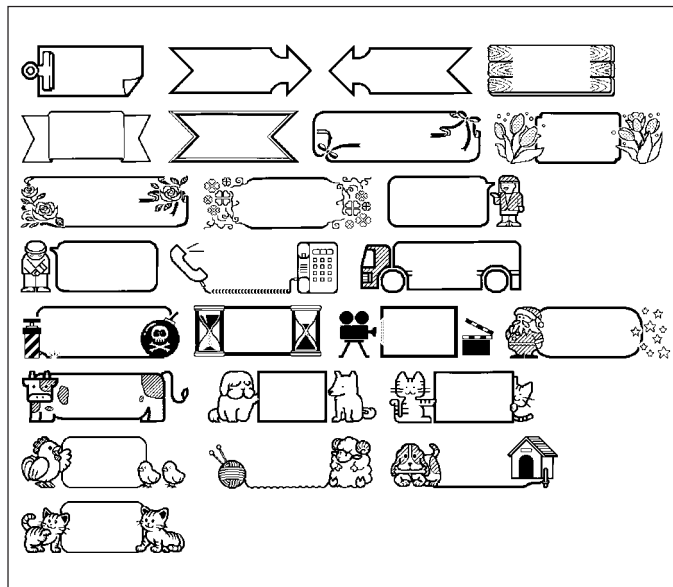
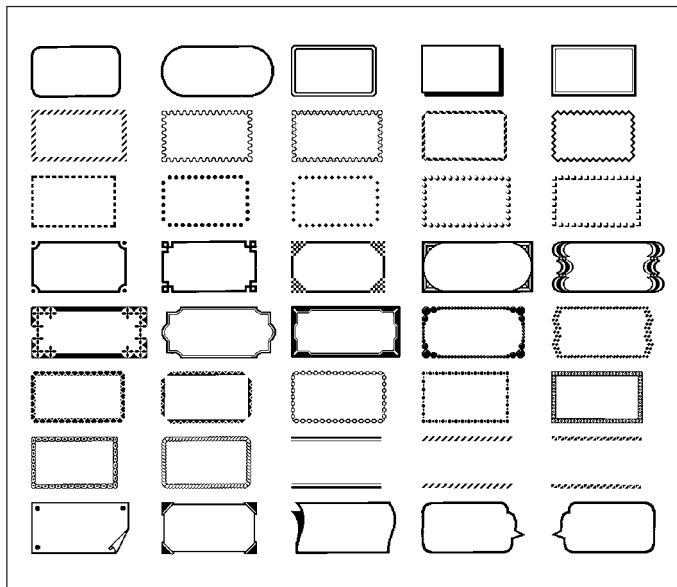
●星座



●全部

「オフィス」から「星座」までの絵文字すべてが入ります。表示される順番は多少変わります。

フレーム一覧



用途別ラベルフォーマット一覧

お使いになるテープカートリッジの幅によって、フォーマットの表示が異なることがあります(入力項目が異なることはありません)。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ(17種類)	VHS (148mm長)	縦	1		タイトル						
			2		タイトル コメント						
			3		ぶんるい、タイトル、 コメント1~3	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1~3						
			5		タイトル1~3、 タイトル4~6						
	ミニDV (65mm長)	縦	1		タイトル						
			2		タイトル コメント						
			3		ぶんるい、タイトル、 コメント1~2	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1~3						
	8mm (94mm長)	縦	1		タイトル						
			2		タイトル コメント						
			3		ぶんるい、タイトル、 コメント1~2	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1~3						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ(17種類)	VHS-C (89mm長)	縦	1		タイトル						
			2		タイトル コメント						
			3		ぶんるい、タイトル、 コメント1~3	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1~3						
オーディオ(16種類)	MD (71mm長)	横	1		タイトル						
			2		タイトル、 コメント						
			3		タイトル、コメント 1~2	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1~3						
	MD背 (57mm長)	横	1		タイトル	-	-	-	-	○	○
	カセット (99mm長)	横	1		タイトル						
			2		タイトル、 コメント						
			3		タイトル、 コメント1~2	○	○	○	○	-	-
			4		タイトル1~3						
	CD-R (114mm長)	横	1		タイトル						
			2		タイトル、 コメント						
			3		タイトル、 コメント1~2	○	○	○	○	-	-
4				タイトル1~3							
CD-R背 (114mm長)	横	1		タイトル							
		2		タイトル、 コメント							

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
名前 (18種類)	一般 (65mm長)	横	大1		こうもく、なまえ						
			大2		なまえ、こうもく	○	○	○	○	-	-
			大3		なまえ、 こうもく1～2						
	一般 (45mm長)	横	小1		こうもく、なまえ						
			小2		なまえ、こうもく	○	○	○	○	-	-
			小3		なまえ、 こうもく1～2						
	子供 (80mm長)	横	大1		ねん・くみ、なまえ						
			大2		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	-	-
			大3		がっこう、ねん・ くみ、なまえ						
			大4		がっこう、ねん・ くみ、なまえ						
	子供 (50mm長)	横	小1		ねん・くみ、なまえ						
			小2		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	-	-
小3				がっこう、ねん・ くみ、なまえ							
小4				がっこう、ねん・ くみ、なまえ							
ふりがな付 (80mm長)	横	大1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	-	-	
		大2		ねん・くみ、 ふりがな、なまえ							
ふりがな付 (50mm長)	横	小1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	-	-	
		小2		ねん・くみ、 ふりがな、なまえ							

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付 (19種類)	封筒 (210mm長)	縦	大1		なまえ						
			大2		じゅうしょ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
			大3		じゅうしょ、 なまえ						
	封筒 (140mm長)	縦	小1		なまえ						
			小2		じゅうしょ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
			小3		じゅうしょ、 なまえ						
	はかき (90mm長)	縦	1		なまえ						
			2		じゅうしょ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
			3		じゅうしょ1、じゅうしょ2 なまえ						
	差出人 (65mm長)	縦	大1		じゅうしょ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
			大2		じゅうしょ1、じゅうしょ2 なまえ						
	差出人 (45mm長)	縦	小1		じゅうしょ、 なまえ	○	○	○	○	-	-
小2				じゅうしょ1、じゅうしょ2 なまえ							
のし紙 (95mm長)	縦	大1		こうもく							
		大2		こうもく1～2	○	○	○	○	-	-	
		大3		こうもく1～2							

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付 (19種類)	のし紙 (65mm長)	縦	小1		こうもく						
			小2		こうもく1~2	○	○	○	○	-	-
			小3		こうもく1~2						
ファイル (17種類)	ファイル背 (180mm長)	縦	大1		タイトル						
			大2		タイトル コメント	○	○	○	○	-	-
			大3		びんるい、タイトル、 コメント1~3						
	ファイル背 (140mm長)	縦	小1		タイトル						
			小2		タイトル、 コメント	○	○	○	○	-	-
			小3		びんるい、タイトル、 コメント1~3						
	FD/MO (71mm長)	横	1		タイトル						
			2		タイトル、 コメント	○	○	○	○	-	-
			3		タイトル、 コメント1~2						
CD-R (114mm長)	横	1		タイトル							
		2		タイトル、 コメント	○	○	○	○	-	-	
		3		タイトル、 コメント1~2							
		4		タイトル1~3							
CD-R背 (114mm長)	横	1		タイトル	-	-	-	-	○	○	
		2		タイトル、 コメント							

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ファイル (7種類)	備品管理 (70mm長)	横	1		こうもく1~3	○	○	○	○	-	-
			2		こうもく1~2						
値札 (10種類)	総額のみ (70mm長)	横	大1		コメント、 ねだん						
			大2		ひんもく、 ねだん	○	○	○	○	-	-
			大3		ひんもく1~2、 ねだん						
	総額のみ (50mm長)	横	小1		コメント、 ねだん						
			小2		ひんもく、 ねだん	○	○	○	○	-	-
			小3		ひんもく1~2、 ねだん						
	本体併記 (70mm長)	横	大1		ぜいごみ、 ほんたい	○	○	○	○	-	-
			大2		ひんもく、ぜいごみ、 ほんたい						
本体併記 (50mm長)	横	小1		ぜいごみ、 ほんたい	○	○	○	○	-	-	
		小2		ひんもく、ぜいごみ、 ほんたい							

ナンバリングフォーマット一覧

※3.5mm幅テープカートリッジはお使いになれません。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
						24	18	12	9	6
		横	1	■■■■■	ナンバー	○	○	○	○	○
		横	2	■■■ ■■■	コメント、 ナンバー					
		横	3	■■■ ■■■	ナンバー、 コメント					
		横	4	■■ ■■■ ■■■	コメント1、ナンバー、 コメント2					
		横	5	■■■■■	コメント、 ナンバー					
		横	6	■■■■■	ナンバー、 コメント					

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大“縦”倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm/ 24mm	取扱説明書 参照ページ
最大印刷 可能行数	標準フォント	—	1行	1行	2行	3行	33ページ 39ページ
	微小フォント	1行	2行	3行	5行	6行	61ページ
最大“縦” 倍率	標準フォント	—	1倍	2倍	3倍	4倍	38ページ 39ページ
	微小フォント	1倍	1倍	2倍	3倍	3倍	61ページ
“縦”倍率 の合計	標準フォント	—	1	2まで	2まで*	3まで*	33ページ 38ページ
	微小フォント	1	2まで*	3まで*	5まで*	6まで*	39ページ 61ページ

*複数行のときの合計です。

各機能における使用可能テープ幅一覧

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
フリーラベル	○	○	○	○	○	○
フレーム	×	○	○	○	○	○
用途別ラベル	○	○	○	○	○	○
ナンバリング印刷	×	○	○	○	○	○

仕様

形式 : KL-M5

入力

キー配列 : JIS配列準拠
入力方法 : ローマ字入力、JISかな入力
変換方式 : 熟語変換・単漢字変換

辞書

内蔵辞書数 : 熟語変換 約88,000語
単漢字変換 約13,000語

文字種

5,452文字
漢字 : 4,166文字
JIS第1水準 2,965文字
JIS第2水準 1,201文字
ひらがな : 83文字
カタカナ : 86文字
数字 : 10文字
アルファベット : 52文字
ギリシア文字 : 48文字
ロシア文字 : 66文字
記号 : 385文字
絵文字 : 556文字

表示

液晶表示 : 96×64ドット+シンボル(6桁×4行)
入力部分 : 6桁×1行(フリーラベル以外での入力時)
6桁×3行(フリーラベル入力時のみ)
表示文字構成 : 16×16ドット(全角)
8×16ドット(半角…メニュー・メッセージ専用)
8×8ドット(1/4角…メニュー・メッセージ専用)

印刷

印字密度 : 200dpi
印刷方式 : 熱転写方式
印字速度 : 約11mm/秒
印字幅 : 約12mm
a)2mm(テープ幅 3.5mm)
b)4mm(テープ幅 6mm)
c)7mm(テープ幅 9mm)
d)10mm(テープ幅 12mm)
e)12mm(テープ幅 18mm/24mm)

文字構成 : ビットマップフォント
書体 : 和文書体(明朝体*、ゴシック体*)
欧文書体(明朝体*、ゴシック体*、ステンシル、ポップ)

※この書体は、(財)日本規格協会と使用許諾契約を締結して使用しているものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みません。
フォントとして無断複製することは禁止されています。

平成明朝体™W8、平成角ゴシック体™W5

印刷方向 : 横書き・縦書き・裏書き
印刷文字体 : 標準・太字・白抜
印刷行数 : 3.5mm幅テープ使用時 1行印刷可能
6mm幅テープ使用時 1～2行印刷可能
9mm幅テープ使用時 1～3行印刷可能
12mm幅テープ使用時 1～5行印刷可能
18mm/24mm幅テープ使用時 1～6行印刷可能

内部記憶

- 文字編集用の記憶 : フォーマットごとに設定(フリーラベルでは127文字)
文字登録用の記憶 : 1件
単漢字変換学習 : 約10語

登録

テキストエリア一括登録(上書き)

電源・その他

- 動作電源 : ACアダプター(AD-A12090L)
単3形アルカリ乾電池(8本・市販品)
消費電力 : 14W
オートパワーオフ : 約6分
大きさ : 幅202mm×奥行216mm×高さ64mm(足含む)
重さ : 約750g(乾電池含まず)
使用温度 : 10℃~35℃

別売品一覧

別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランドの新製品情報については、以下のURLをご確認ください。

<http://www.casio.co.jp/d-stationery/nameland/>

●テープカートリッジ

	テープ幅 テープ色	テープ幅					
		24ミリ 旧形番号(KR-24)	18ミリ 旧形番号(R-18)	12ミリ 旧形番号(KR-12)	9ミリ 旧形番号(R-9)	6ミリ 旧形番号(KR-6)	3.5ミリ
スタンダード テープ (8m)	白に黒文字	XR-24WE	XR-18WE	XR-12WE	XR-9WE	XR-6WE	XR-3WE
	黄に黒文字	XR-24YW	XR-18YW	XR-12YW	XR-9YW	XR-6YW	
	緑に黒文字	XR-24GN	XR-18GN	XR-12GN	XR-9GN	XR-6GN	
	赤に黒文字	XR-24RD	XR-18RD	XR-12RD	XR-9RD	XR-6RD	
	青に黒文字	XR-24BU	XR-18BU	XR-12BU	XR-9BU	XR-6BU	
	白に赤文字		XR-18WER	XR-12WER	XR-9WER		
	白に青文字		XR-18WEB	XR-12WEB	XR-9WEB		
	金に黒文字		XR-18GD	XR-12GD	XR-9GD		
	銀に黒文字		XR-18SR	XR-12SR	XR-9SR		
	黒に金文字		XR-18BKG		XR-9BKG		
	黒に銀文字		XR-18BKS		XR-9BKS		
	透明に黒文字	XR-24X	XR-18X	XR-12X	XR-9X	XR-6X	XR-3X
	透明に金文字		XR-18XG		XR-9XG		
	透明に銀文字		XR-18XS		XR-9XS		
透明に赤文字		XR-18XRD		XR-9XRD			
白文字 テープ (8m)	緑に白文字	XR-24AGN	XR-18AGN	XR-12AGN	XR-9AGN		
	赤に白文字	XR-24ARD	XR-18ARD	XR-12ARD	XR-9ARD		
	青に白文字	XR-24ABU	XR-18ABU	XR-12ABU	XR-9ABU		
	黒に白文字	XR-24ABK	XR-18ABK	XR-12ABK	XR-9ABK		
	透明に白文字	XR-24AX	XR-18AX	XR-12AX	XR-9AX		

	テープ幅 テープ色	テープ幅				
		24ミリ	18ミリ 旧形番号(R-18F)	12ミリ	9ミリ	6ミリ
蛍光色 テープ (6.5m)	蛍光ピンクに黒文字		XR-18FPK	XR-12FPK	XR-9FPK	
	蛍光赤に黒文字		XR-18FRD	XR-12FRD	XR-9FRD	
	蛍光オレンジに黒文字		XR-18FOE	XR-12FOE	XR-9FOE	
	蛍光黄に黒文字		XR-18FYW	XR-12FYW	XR-9FYW	
	蛍光緑に黒文字		XR-18FGN	XR-12FGN	XR-9FGN	
黒文字 (6.5m)			XR-18MBK		XR-9MBK	
黒文字 (9.5m)	黒文字で布地に転写		XR-118BK			
	赤文字で布地に転写		XR-118RD			
	青文字で布地に転写		XR-118BU			
黒文字 (11.5m)			XR-18LBK			
反射黄に黒文字 (11.5m)			XR-18RYW			

メンディングテープ

表面をつや消し加工したマットタイプのテープで、貼っても目立たず、コピーしたときでも影が出にくいテープです。また、光らないため図面の修正などに便利です。

布転写テープ

印刷した文字をアイロンを使ってお客様の衣類などに転写するときに使います。*1

インスタントレタリングテープ

印刷した文字だけをノートなどの紙に転写するときに使います。*2

反射テープ

ヘッドライトや懐中電灯等の光に反射するテープで、夜間の安全対策に便利です。*3

*1 化繊、ウール、絹、デニム、パイルなど、布地によっては転写できない場合があります。

*2 転写先の紙質によっては転写できない場合があります。

*3 特殊テープのため別売の「マグネットテープ用ハサミ」または市販のハサミを使ってカットしてください。

	テープ幅	24ミリ	18ミリ	12ミリ	9ミリ	6ミリ
	テープ色					
サンリオキャラクターテープ 5.5mm	ハローキティ		XR-18S1			
	けるけるけるっぴ		XR-18S2			
	ポチャッコ		XR-18S3			
	パッドばつ丸		XR-18S4			
	パッドばつ丸とその仲間		XR-18S5			
強粘着テープ 5.5mm	白に黒文字		XR-18GWE	XR-12GWE	XR-9GWE	
	透明に黒文字		XR-18GX	XR-12GX	XR-9GX	
	黄に黒文字		XR-18GYW	XR-12GYW	XR-9GYW	
抗菌テープ 5.5mm	白に黒文字		XR-18BWE	XR-12BWE	XR-9BWE	
	透明に黒文字		XR-18BX	XR-12BX	XR-9BX	
	青に黒文字		XR-18BBU	XR-12BBU	XR-9BBU	

サンリオキャラクターテープ

サンリオキャラクターの絵柄が入った楽しいテープです。

© 1976,1988,1989,1993,2005 SANRIO CO., LTD.

強粘着テープ

接着しにくい場所に貼り付けるときや、長期間にわたってラベルを貼り付けておくときに便利です。

抗菌テープ

抗菌剤を配合することにより、細菌の増殖を抑制する作用があります。

共同で使用するものや、キッチン周りで使用する場合に便利です。

	テープ幅	24ミリ	18ミリ	12ミリ	9ミリ	6ミリ
	テープ色					
白黒文字 4.0mm	白に黒文字	XR-24JWE				
	黄に黒文字	XR-24JYW				
カラーラインテープ 4.0mm	赤に黒文字		XR-18TRD	XR-12TRD		
	青に黒文字		XR-18TBU	XR-12TBU		
	黄に黒文字		XR-18TYW	XR-12TYW		
アテンション 4.0mm	緑に黒文字		XR-18TGN	XR-12TGN		
	黒/黄に赤文字	XR-24W1				

マグネットテープ

印刷後そのまま、ホワイトボードや冷蔵庫などスチール製のものへ繰り返し貼り付けができます。*4 *5

カラーラインテープ

白地にカラーラインが入ったテープです。ファイルなどジャンルの分類に便利です。

会議資料

ラインの色によりジャンルを分類できます。

アテンションテープ

注意を促す場所や危険な場所に貼ると効果的です。テープ色、テープ柄と文字色の対比によりラベルの文字を目立たせることができます。



*4 特殊テープのため別売の「マグネットテープ用ハサミ」または市販のハサミを使ってカットしてください。

*5 磁気を使った特殊テープですので、フロッピーディスク、磁気カード、切符等には近づけないでください。

● クリーニングテープ

XR-24CLE

長期間で使用になると、プリンターヘッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。

● ネームランド用ハサミ

CU-10

9ミリ幅～24ミリ幅テープのカドを丸くしたり、カット部を波型に仕上げることができます。

● マグネットテープ用ハサミ

CU-15J

本機に装着されているカッターの消耗を避けるためのハサミです。

※品切れの際はご容赦ください。

※別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引

キー	
⬅️ ⬆️ ➡️ ⬇️	47
aA	48
ON OFF	10
あア	48
印刷	19
印刷プレビュー	19,22
機能	20
空白	50
後退	56
書式	34
実行	19
シフト	50,53
設定	63
縦書印刷	41
単漢字	52
取消し	20
フォント	60
フレーム印刷	40
変換	50
無変換	49
文字削除	56

記号・アルファベット・数字

ACアダプター	13
CD-R用ラベル	80
MD用ラベル	80
VHS用ラベル	80

あ行

アフターサービス	95
網掛	62
アルファベットの入れかた	53
イメージャー表示	33
印刷	23
印刷濃度	64
印刷プレビュー	19,22
印刷方向	34
印字サイズ	38
裏書き	34
上書き	58
絵文字	55
絵文字一覧	76
エラーメッセージ	72
オートパワーオフ	15
大文字の入れかた(アルファベット)	53
送り無	35

か行	収納部オープンボタン	10	テープの長さ	36	別売品一覧	91
カーソル	熟語変換	50	テープ幅と行数・倍率一覧	83	変換	
改行	仕様	89	デモ印刷	64	カタカナ	49
確定	初期化	15	電源	13	熟語	50
各部の名前	初期設定	15	電源を入れる	15	単漢字	52
下線(修飾)	初期フォント	60	電源を切る	15	同音異義語	51
下線(変換)	書式	34	電池をセットする	67	方向(印刷方向)	34
カタカナの入れかた	書体	59	登録	45	ポップ	59
カタカナ変換	白抜	61	同音異義語変換	51	保証	95
カットモード	数字の入れかた	54				
かな漢字まじり文の入れかた	スクロール	47	な行		ま行	
かな入力	ステンシル	59	内蔵漢字一覧	84	右寄せ	37
画面の見かた	設定		中寄せ	37	明朝体	59
漢字の入れかた	印刷濃度	64	ナンバリング(通し番号ラベル)	30	メモリー(登録)	45
乾電池	輝度調整	63	入力		メモリーの初期化(リセット)	15
乾電池カバー	初期フォント	60	絵文字	55	文字間隔	34
キー	挿入/上書き	58	記号	54	文字キー	20
キーボード	ローマ字/かな入力	48	文字	48	文字サイズ	38
キーのはたらき	デモ印刷	64			文字削除	56
記号一覧	前候補	51	は行		文字修飾	62
記号の入れかた	全文削除	57	倍率マーク	39	文字体	61
輝度(画面)	全文頭	47	微小フォント	39,61	文字の入れかた	48
行頭	全文末	47	左寄せ	37	文字の訂正	56
行末	挿入	58	表示画面	21	文字倍率	38
均等			ひらがなの入れかた	49	文字割付	37
均等割付(文字)	た行		フォーマット	28		
クリーニング	縦書き印刷	34	フォント(書体)	59	や行	
後退	縦横同時印刷	41	付属品	11	用途別ラベル	28
ゴシック体	単漢字変換	52	太字	61	用途別ラベルフォーマット一覧	80
故障かな?と思ったら	データの登録	45	部分削除	57	余白	35
ゴムローラー	データの保持	14	フリーラベル	22,32		
小文字の入れかた(アルファベット)	データの呼出し	45	プリンターヘッド	18	ら行	
小文字(促音、拗音)の入れかた	テープ	17	フレーム	40	リセット(初期化)	15
(ひらがな・カタカナ)	テープ送り	24	フレーム一覧	79	ローマ字入力	48
	テープカートリッジ	17	プレビュー画面	22	ローマ字入力一覧	74
さ行	テープカートリッジ収納部のカバー	10	文削除	57	わ行	
削除(部分)	テープカートリッジのセット	17			枠付	62
削除(文削除)	テープカートリッジの取り出し	18			割付	37
削除(文字削除)	テープガイド	17				
ジャストフィット印刷	テープカット	42				
ジャストフィットマーク	テープ長固定	36				
	テープ出口	10				

MEMO

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2